

令和7年度
日野市立図書館の運営の
状況に関する評価書
(令和6年度事業)

くらしの中に図書館を
地域に根ざした「知のひろば」が
本と人との「わ」をつくる

令和7年9月
日野市立図書館

目次

1	はじめに	1
2	評価の目的	1
3	図書館の現状	1
	(1) 施設	1
	(2) 組織・職員（令和7年4月1日現在）	2
	(3) 主な業務	2
4	評価の実施方法	2
5	評価の対象	2
6	評価の結果	3
	(1) 図書館協議会の総括的意見.....	3
	(2) 図書館の自己評価.....	11
7	令和6年度主要事業／第4次日野市立図書館基本計画の取組内容	13
	統計資料	52
	日野市立図書館の運営状況の評価実施要綱.....	72
	図書館協議会委員名簿	73

1 はじめに

平成20年6月に「図書館法」が改正され、図書館の運営の状況に関する評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めること、また、図書館奉仕に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならないこととされました。

そのため、図書館では、平成21年3月31日に、「日野市立図書館の運営状況の評価実施要綱」を制定し、平成21年度から図書館の運営状況に関する評価を開始しました。

2 評価の目的

この評価は、図書館の運営状況に関する情報を積極的に提供することにより、市民・利用者やその他の関係者との理解を深め、連携及び協力を推進し、市民・利用者に信頼される効果的な図書館運営の推進に資することを目的に行います。

この目的遂行のため、図書館は毎年1回、運営状況について評価を行い、その評価に関する報告書を毎年作成し、教育委員会に提出するとともに、市民に公表することとしています。その評価結果に基づき図書館の運営の改善を図るために必要な措置を講ずるよう努めていきます。

3 図書館の現状

(1) 施設

施設の名称	延べ床面積	現館の開館日	所在地	蔵書数
中央図書館	2,220 m ²	昭和 48. 4. 28	豊田 2-49-2	285 千冊
移動図書館	1 台 (21 駐車場)	昭和 40. 9. 21	同上	36 千冊
高幡図書館	1,358 m ²	昭和 55. 5. 11	三沢 4-1-12	103 千冊
日野図書館	422 m ²	昭和 55. 5. 18	日野本町 7-5-14	59 千冊
多摩平図書館	856 m ²	平成 16. 4. 1	多摩平 2-9 多摩平の森 ふれあい館 1 階	128 千冊
平山図書館	412 m ²	平成 20. 4. 5	平山 5-18-2 平山季重 ふれあい館 1 階	69 千冊
市政図書室	140 m ²	昭和 52. 12. 1	神明 1-12-1 日野市役 所 1 階	50 千冊
百草図書館	759 m ²	平成 2. 11. 16	百草 204-1 ガーデン ビュー石神D2 階	74 千冊

(2) 組織・職員（令和7年4月1日現在）

3係（庶務・業務・奉仕）、6分館

- 正規職員 28人（うち司書 21人）
- 再任用職員 8人（うち司書 3人）
- 会計年度任用職員（年 1,500 時間換算） 40.4人

(3) 主な業務

- 図書館資料の収集、整理及び保存
- 個人貸出、団体貸出
- 読書案内及び読書相談
- レファレンス
- 図書館資料の図書館間相互貸借
- 市内の学校への資料提供と支援
- 地域・行政資料の収集・提供・保存
- 読書会、研究会、講習会、展示会等の主催及び奨励
- 館報その他の読書資料の発行及び頒布

4 評価の実施方法

評価の対象事業について、図書館の活動実績・自己評価を、図書館協議会に報告し、定例協議会において主要事業の概要説明をしました。それに対し図書館協議会委員の意見をいただき、評価を行いました。

5 評価の対象

令和6年度主要な取組（主要事業）及び「第4次日野市立図書館基本計画」の取組と、図書館協議会と相談し地域館の取り組みでは重点的に取り組んだ事業1つを評価対象としました。

○ 令和6年度主要な取組（主要事業）

1. 図書館のDX（公立図書館及び学校図書館DX化事業）

○ 第4次図書館基本計画に基づく令和6年度重点項目

2. レファレンスサービス・読書相談サービスの充実（1-2-③）
3. 高幡図書館の取り組み（2-1-③地域館ごとの取り組みの充実(1)高幡図書館）
4. 日野図書館の取り組み（2-1-③地域館ごとの取り組みの充実(2)日野図書館）

5. 多摩平図書館の取り組み (2-1-③地域館ごとの取り組みの充実(3)多摩平図書館)
6. 平山図書館の取り組み (2-1-③地域館ごとの取り組みの充実(4)平山図書館)
7. 百草図書館の取り組み (2-1-③地域館ごとの取り組みの充実(5)百草図書館)
8. 市政図書室の取り組み (2-1-③地域館ごとの取り組みの充実(6)市政図書室)
9. 移動図書館「ひまわり号」の取り組み
(2-1-③地域館ごとの取り組みの充実(7)移動図書館「ひまわり号」)
10. 中央図書館の取り組み (2-1-③地域館ごとの取り組みの充実(8)中央図書館)
11. 乳幼児へのサービス
(3-1-①第4次日野市子ども読書活動推進計画の推進(1)乳幼児へのサービス)
12. 小中学生へのサービス・学校支援 (3-1-①第4次日野市子ども読書活動推進計画の推進 (2) 小中学生へのサービス (5) 学校支援)
13. 青少年へのサービス
(3-1-①第4次日野市子ども読書活動推進計画の推進(3)青少年へのサービス)
14. 図書館の利用に障害がある方の読書環境の整備 (3-2-②)
15. 図書館の魅力や活動を市民に広めていきます (5-1-②、5-2-①)
16. 施設の老朽化対策・防災安全対策の推進 (6-1-②)
17. 職員研修の充実と職員の育成 (6-3-①)

6 評価の結果

(1) 図書館協議会の総括的意見

○ 令和6年度主要な取組 (主要事業)

1. 図書館のDX (公共図書館及び学校図書館DX化事業)

令和6年度に始まった電子図書館事業は、市民の反応も良好であり、「日野市DX推進計画 令和6年度前期アクションプラン」における事務局評価が「A」評価であったことなどから評価できるが、新規事業でもあり、今後の市民の利用状況など経年変化に注視したい。

今後の課題は、まずこのサービスの未利用者にどの様に伝えていくのか、また本サービスを利用するためには図書館利用者カードの発行を受けなければならないが、現状では来館が不可欠であり、図書館への来館が困難な市民に対しての対応措置も必要になる。またサービス維持のための財源的措置についても継続財源の確保にも注力されたい。

○ 第4次図書館基本計画に基づく令和6年度重点項目

基本方針1. 現在および未来の市民が求める資料・情報を収集・提供・保存します

1-2-③ レファレンスサービス・読書相談サービスの充実

前年度に引き続き予算を確保して資料の新規購入(200点)をしている点は評価できる。また新刊書を中心に、選書における利用者の声も取り入れており、情報の鮮度を担保し、市民の情報ニーズにも積極的に応えようとする活動は評価できる。

なお、レファレンス相談件数が令和5年度の1,853件から令和6年度は1,329件となり、約3割の減少になっている。この点については、レファレンスサービスにおいては、職員への直接の相談のほか、利用者自身がレファレンスコーナーの情報源を活用して調査を行い、問題解決を実現するケースも多いと推察される。また、読書相談は貸出カウンターでも行われるものであれば、中央図書館のみならず全館で行われている活動ではないだろうか。それをどのように数値化して説明するかなどの課題もある。

また、レファレンスサービスに関わるPRについては、親しみやすさをどのように演出するかだけではなく、市民にその様な機能が図書館にあることを伝えること、日常生活に役立ててもらえる工夫を重ねていくことが必要である。

基本方針2. 本・人・地域をむすび、地域の文化を支える拠点となる図書館をめざします

2-1-③ 地域館ごとの取り組みの充実

(1) 高幡図書館

地域の資料(本を含め)が蓄積され、常に提供できる仕組み(連携)は、資料の提供につなげ、更に地域に安心感と愛着を育む事業として評価したい。多くの市民が機会を逃さないよう告知、展示空間(見やすさ)の工夫や新たな地域資料の発見に努めて欲しい。

「日野まちゼミ」支援は、地域の活性化(事業者)の視点で、早くから継続的に本でアプローチしている事業として評価したい。事業者は市内全域で開催しているため、負担軽減も兼ねて図書館システム(分館)を活用し、それぞれの地域に密着した事業が展開できるか検討をしてはいかか。

利用者の様子を把握し、快適な開架室へ素早く改善対応できていることを評価したい。このような観察や改善の試みを積み重ねサービスの提供基盤の整備へつなげて欲しい。

「みんなで本のシャツを干しましょう」展示など、子どもたちが図書館に参加できる工夫がされた事業として評価したい。子どもたちの現状を更に分析して事業に展開して欲しい。

都立七生特別支援学校への読み聞かせ訪問は、事業の継続希望を受けているとのことで評価したい。子どもたちの成長と楽しみのためにも連携を継続し、図書館サービスの深みを探り、新たなサービスへの展開を期待したい。

(2) 日野図書館

令和5年度に好評だった児童書の面出し配架は(年間50冊)、令和6年度では年間100冊以上を実施し、利用者の反応も良く、前年度の課題解決に意欲的に取り組んでいる様子が分かる。

また、日野図書館の立地の生かした連携(日野宿、公民館、児童館、社会福祉協議会等)やイベント実施と継続は、社会教育施設としての図書館の地域に於ける役割を十分に果たしており、大変評価できる。このような地道な活動が地域における図書館のあり方や市民への印象に好影響を及ぼすと考えられ、今後とも大切にしたい。

一方で、日野本町地区公共施設再編事業として日野図書館の延床面積縮減による業務への影響についての指摘がある。日野図書館がいままでに築いてきた地域の図書館としての役割、地域社会との信頼関係、市民の地域の図書館に対する期待など、今後とも変わらず維持していけるのかは重要である。その点を大切にしたい。

日野宿発見隊の「出水操作作品展」は多くの来場者があり、「襖絵」も見られ、よい機会になった。

なお、「もっと魅力あるまちであり続ける」まちづくりの視点からの追評価・意見として、以下の評価意見も付記する。

日野本町地区公共施設再編事業の取り組みは、市民とご近所会議、関係者が共につくる成果としても、これからの日野本町地区まちづくりの中心となる施設整備(市民との協働プロセスも含め)として期待したい。

日野図書館は、平成17年に増床(改修)し、貸出冊数を 1.75 倍(平成23年/平成15年比較)に延ばすと同時に、地域住民と協働で「日野宿発見隊」を結成し、互いに学び、創造し関係を築きながら、地域を知る様々なまちづくり活動も展開している。

当事業においても、図書館の持つ力(機能)を十分に発揮できる条件を整えて、一人ひとりが考え行動し、協働によるまちづくりが更に進化し、誰にも開かれた広場(図書館)で互いに高めあう場づくり、もっと魅力あるまちづくりに挑んで欲しい。

日野図書館の奉仕エリアから推測すると地形の起伏、サービス範囲の広さや蔵書、施設規模の不足が起因となる潜在的利用者、まちづくりの主体となる共感者が、まだまだ埋もれて居るのではないだろうか、十分な調査、分析、協議、検討をお願いしたい。

因みに日本図書館協会が実績から導き出している。「公共図書館の任務と目標」にある図書館の最低規模は、蔵書5万冊、職員3人、施設面積 800 m²が必要最低限と記され、地域館を設置する場合も最低の要件となっている。

(3) 多摩平図書館

令和6年度の取り組みでは限られた予算の中でも創意工夫をしていると感じる。例えば読書パスポートでのプレゼントの工夫、また例年行っているような図書館見学でも写真データを使って遠方の学校とも連携するなどのアイデアが見られ評価できる。また、市民との交流が生まれるきっかけ作りにも積極的であり、それを活用して、市民利用の増加や、市民の図書館に対する要望の掘り起こしにつなげて欲しい。

なお、令和5年度報告には、絵本パックスの開始を館内で検討する、おはなし会後の乳幼児保護者同士の交流を促進するなどの課題改善策が記されているが、どの様な取り組みとして成果に結びついたのかを説明する必要がある。

(4) 平山図書館

生活に密着した図書館サービスとして時代の背景、まちの現状を捉えたサービス、更に図書館システム（分館）により各地域へ展開され図書館機能が十分に活かされた事業として評価したい。

くらしを支える図書館として関係機関と連携し地域課題の解決に向けて、更に挑んでほしい。

自習場所（1階ブラウジングで行われている席貸しのような利用）の確保は、日野市立図書館でなくてもできるサービスであり、図書館事業の成果としては判断が難しい。

郊外における住民自治のあり方を探るような空間づくり、様々な個人利用、情報や本を介した居場所、ラーニングコモンズ、地域コモンズのような共に学び支え合うような公共空間としてバランスの良い運用ができないだろうか。図書館が駅前、複合施設にあることの意義も含め再考して進めて欲しい。

多彩な企画展示に資料を絡め、利用者層を把握した事業が展開されていることを評価したい。施設のつくり（計画）にもよるが、展示空間としてゆったり鑑賞できる工夫をしてほしい。

(5) 百草図書館

ギャラリーを活かして利用者の学びにつなげることができていることを評価する。内容も地域の情報拠点としてふさわしく、今後も期待する。

地域との連携は、段階を経てもう少し踏み込んだ連携を期待したい。

また、中学生のボランティア活動の人数の多さに驚いた。受け入れは大変だろうが、生徒が図書館に愛着を持つ機会になるので、続けてほしい。

(6) 市政図書室

手堅く継続した事業をしている印象である。行政資料や地域資料の収集も堅調であるが、この数年継続されている「地域・行政資料デジタル」への資料追加も行われており、事業の継続性についても高く評価したい。

その一方で、市政図書室の認知度が低いことは残念である。より多くの市民に知ってもらうためにはどうすればよいか。何を伝えるべきか。市政図書室発行「資料の広場」など配布物の充実やウェブでの情報発信などさらなる工夫を期待したい。

なお、令和5年度に資料の保管場所についてその確保に努めることが記されているが、令和6年度の状況はどうか。地域情報や行政資料、特に歴史的公文書などは日野市民にとって重要な記録である。これを保存して次の世代に伝えていくことは、今後の見通しも含めて重要な課題であるので、図書館を中心として全庁で取り組むべき課題であると考えている。

(7) 移動図書館「ひまわり号」

様々なイベントへ出張し認知される機会を増やしていたものの、年間利用者数、貸出数、ともに減少傾向である。しかし、市立図書館としての全域サービス、移動手段のない市民へのサービスとしての意義は大切である。また図書館界では移動図書館が地域社会を結びつける役割を持つという指摘もある。そのために、既存のサービスポイントや巡回時間の見直しを含め、利用者ニーズや利用実態調査を行ってはどうか。移動図書館のもつ可能性を探りながら、市民のためのこのサービスをより推進していくための工夫を期待したい。また移動図書館の機能を維持するためには、老朽化した車両の更新については、継続して検討し、早期実現を求めたい。

(8) 中央図書館

「中央図書館の国の登録有形文化財」への登録を目指す事業は、日野市立図書館や日野市民はもとより、日本の図書館史の歩みを伝えるという文化財的な面からも評価ができる事業である。関連イベントでは予想を超えた申込があり、市民の関心も高く、文化財登録への期待が高まった。なお、令和5年度の「豊田地域における住民の交流の場とする」という課題についてはまだ取り組みが必要である。中央図書館は日野市全体の中央図書館であるとともに豊田地区の図書館としての側面もある。中央図書館を中心に日野宿発見隊のような地域の市民と共同する活動も期待したい。

また、中央図書館では、令和5年度の改善策を踏まえた事業の展開(実践女子大学との平和学習への協力、大坂上中の「本の紹介カード」)が見られ、その点でも評価できる。

実践女子大学学生の平和学習事業に参加した感想を含めての意見として、図書館の開架室を活用した主体、連携事業は、本のある空間を巧みに活用し、毎回充実した企画になっていて評価したい。今後の企画が楽しみである。その中でもPOPづくりのお手本として子どもたちに司書がお手本を示した場面では、子どもたちみんなが読んでみたいと手を挙げた。魔法のようなスキルを更に高め、様々な場面で展開して欲しい、また、地域館でも開架室を活用した地域ならではの企画も望みたい。

なお、中央館は他地域館におけるレファレンスサービスなどの図書館サービスを支援する役割も担っており、そのための機能維持にも努めてほしい。

基本方針3. だれもが利用しやすく、魅力のある図書館をめざします

3-1-① 第4次日野市子ども読書活動推進計画の推進

(1) 乳幼児へのサービス

0・1・2歳の乳幼児のおはなし会は参加人数が少なく見えるかもしれないが、小さなお子さんは大勢の中では集中できないので、1回の参加人数はちょうど良いと思う。回数を増やしても良いのではないかな。

各図書館に子どもが読んだ物語の登場人物や虫になれるなど、想像の世界を楽しめるコーナーがあるのはどうだろうか。図書を借りる場だけでなく親子で過ごせる場としての工夫も欲しい。

前年度から比較して利用の落ちている館がある。出張おはなし会などとの関連もあると思われるが、図書館内での本とつながる機会も工夫して欲しい。

利用者の生活が変化しているのだろうか、市民の暮らしも読み解き、サービスに努めて欲しい。

館内に留まらないで子どもたち(多くの市民)のもとまで出向きサービスを届ける事業は、日野市立図書館の理念の実践として改めて評価したい。

対面で本の魅力を伝えるには、人的にも限りがあると思われる。ホームページでも対面と同様な魅力づくりの工夫をしてほしい。

(2) 小中学生へのサービス、(5) 学校支援

「小学生向けおはなし会」は、令和5年度に比べて参加人数が30人ほど増えており成果と捉えていいと感じる。特に、申込制により参加者の年齢が把握できるようになったため、参加者の年齢に合わせて本を準備できるようになったことが大きな要因と考える。継続して参加している児童もいることから、児童が「楽しかった。また参加したい。」と感じる取り組みになっていると考えられる。

「たかはたブッククラブ」は昨年度の第3期と比べると参加人数は減少しているが、児童が書籍に親しんだり、言語活動を行ったりすることで貴重な経験になっていると考えるので継続して実施してほしい。

小中学校との連携については、職員が、図書館ガイダンスという形で、市立小学校17校中、16校に赴いており、学校と交流を活発に行っているという点で高く評価できるものである。一方、図書館職員の学校訪問、児童・生徒の図書館への来館等、学校との直接的な連携は、小学校とのものが圧倒的に多く、中学校が必要としている資料や、図書館が現在所有する資料の需要の把握が高い精度で行われているか、疑問は残る。中学校が必要とする資料の充実をどのように図っていくかは、今後の課題としておきたい。

「中学生と作家の交流事業」は、このような機会がなければ直接話をするのが難しい、現役作家を招いて交流を図る取り組みであり、中学生にとって貴重な体験機会になっている。参加した生徒から好意的な感想を得ており、その成果はおおいに評価できる。一方、計4回の企画会議や、2学期末考査直前での講演会実施など、部活動や習い事等を日常的に行っている生徒には、参加が厳しい条件になっており、年々、運営を担う生徒を集めにくい状況になっている。好みの作家であるかどうかという点でも対象が絞られる事業であるだけに、多くの参加者を募るためには、事業の仕組みを変えていく必要も出てきたのではないかと考えられる。

「中学生職場体験受け入れ」は、市内中学校全校で職場体験学習を実施している中、市立図書館は貴重な受け入れ先になっており、今後も継続が期待される場所である。中学生にとって、手にしたことがない多くの本に触れること、利用する側からサービスを提供する側の視点に立つことは、新たな発見や気づきにつながると思われる。中学生年代の図書館利用の推進という意味でも、意義ある事業と言える。

本の森学級文庫は、児童の実態に応じた本が配送されることから、児童は朝学習の時間を中心によく読んでいる。また、調べ学習で本を使いたい時には、迅速に配送していただい

ている。特に低学年は Chromebook で調べることが難しいので、本を使って調べ学習を進めることができた。

令和6年度、市立小中学校全校に学校図書館司書が配置されたことにより、市立図書館と各学校との連携がより円滑になったと考えられる。それにより、学校搬送便の活用は増えているのではないかと推察される。学校での探究学習の充実が期待される中、図書資料の重要性は高まっており、今後もそれに応じた資料の購入、搬送便による資料の貸出は学校と連携を図りながら行ってもらいたい。

小教研図書館部会において実施した図書のミニ展示会は、学校が児童に適した書籍を見付けられるので非常に有効であったと感じる。図書館部員が見つけた書籍を、自校の図書担当や図書館司書と共有し、購入することができた。また、リサイクル図書頒布は、児童に人気のある書籍も多数あり、図書の予算が限られている学校にとっては非常に助かっている。図書館の書籍の充実につながっている。

(3) 青少年へのサービス

日野ヤングスタッフが様々な活動を主体的に取り組んでいる様子が伝わってくる。特に選書ツアーは面白く、この活動が日野ヤングスタッフ以外の青少年の利用率向上につながるといいと思う。活動支援の包容力と柔軟性を評価する。

地域館のなかでは高幡図書館と多摩平図書館での報告があるが、他の地域での様子が分かり難い。他の地域の青少年へのアプローチ報告を期待したい。

図書館好きの更に若いメンバーの増員は、異年齢の活動(交流)という視点でも期待したい。「お悩みノート」では世代の制限なく相談できるとのこと、今後の展開を楽しみにしたい。

日野ヤングスタッフの多彩な活動支援という視点では大変評価するが、昨年度評価に対しての試みが分かり難い。難しい年代へのサービスと思うが、慎重に検討して事業を進めて欲しい。

3-2-② 図書館の利用に障害がある方の読書環境の整備

課題であった音訳者の確保が令和6年度には改善されたことが評価できる。音訳者養成のための講習会参加者数、音訳者の登録数も増加している。対面朗読では利用者数に大きな変化はないが、延べ時間数の増加から利用者へのきめ細かいサービスに繋がっていると推察される。また音訳点訳資料の作成・貸出点数の推移では、録音図書の需要が高まっており、今後は、その様な利用に対応できる体制の維持強化が求められよう。

図書館における障害者サービス事業への周知や、小学生への点字授業の開催による点字や障害への理解促進は大切な取り組みであり、今後とも継続を強く希望したい。令和5年度の課題として、「聴覚障害者の方の利用を促すため、館内入口に手話の表示」が記されているが、この点は改善できたのか。取り組みが必要である。

基本方針５．図書館の魅力や活動を市民に広めていきます

5-1-②、5-2-① 図書館の魅力や活動を市民に広めていきます

「ひの電子図書館」の開始に向け、様々な媒体で広報したことが評価できる。またこの事業自体が図書館を広報する側面も担っている。一過性の広報活動にならないよう引き続きの継続した広報活動に期待したい。

「おみくじ」については、これからもテーマを変えて、回数を増やし、多くの人たちに電子図書館の存在、図書館の楽しみ方をアピールしてもらいたい。このような双方向によるコミュニケーションの強化は、「おみくじ」以外のアイデアでも行えるであろう。今後の取り組みに期待したい。

図書館ホームページのアクセス数は減少しているので、なぜ減少したのか、その要因の分析は必要である。トップページのアクセス数のみで比較されているので、例えば、OPAC のページに直接アクセスして検索しているなどの可能性も考慮するとよい。なお、「ひの電子図書館」の案内を追加したほか、各館の案内図について道路や図書館近辺の建物の変化に対応し、デザインを統一した地図に更新する、フォントの変更などで、より多くの人を読みやすいように配慮したスタッフの努力は認められる。今後は市民の求める情報形態に併せて、利用者が安心して使えるSNSについても調査・検討を行って欲しい。

転入者や市内在勤在学者向けの利用登録促進キャンペーンについては、一定の登録増加が見られたことにより、その有効性が認められる。今後とも取り組みを継続してほしい。

基本方針６．市民とともに歩んでいける持続可能な図書館の運営体制を整備します

6-1-② 施設の老朽化・防災安全対策の推進

限られた予算の中で老朽化、防災安全の修繕が行われている様子が確認でき、評価したい。リスク管理の面でも事象が起こる前に設備の耐用年数の把握や常日頃の点検が大切に思われる。昨今の物価高騰もあり、把握できている対策は社会情勢も考慮し実施時期を柔軟に検討してはいかがか。

今回、事業計画の項目にはないが、サービス提供基盤の整備に触れたい。将来に向けた図書館施設あり方を、日常のサービス、地域、社会の変化から既成の概念を越えての検証が必要に思う。(日々の運用の中で気がつきにくい社会的劣化もふくめて)

十分な図書館サービスの調査・研究に至らない事業の実施は、将来への負債(箱)を生み出すことになりかねない。

6-3-① 職員研修の充実と職員の育成

日々の業務に追われていると思うが、研修の実施計画は、見直しを前提にしてでも早期に関係者(総合知)と協議し作成して欲しい。地域や図書館の課題を確認し、これからのサービスを探るためにも必要と思われる。また、研修費の予算確保につなげて欲しい。

図書館がくらしの中にあることの意義を多くの市民と共有し、図書館の活用方法を学び、共に成長する相互の研修(講座など)を求めたい。(情報リテラシー、メディアリテラシーについての講座は、どうだろうか。)

アプローチの方向が間違ってしまうと大きな損失を招くことになり兼ねないが、図書館の扱う資料の確かさと適切な資料の案内ができるような技量の向上を期待している。

図書館の蓄積が次の世代へ確かに伝わるスタッフ構成(年齢構成、様々な分野の専門集団など)の構築を強く求めたい。市民の暮らしを守るためにも大きな課題である。

令和6年度の館内研修については、テーマ「日野市立図書館の今後の在り方について」の設定、方法、結果などすべてにおいて工夫され充実した研修が実施されたと見受ける。

今後、研修をどのように活かしていくのか、具体的な動きにつながっていくのかどうかを期待している。

○ まとめとして

令和6年7月より始まった「電子図書館サービス」事業は、立ち上げから様々な検討・予算化と新規事業としての苦労もあったと思うが、事業開始から今後拡大・発展させるにはまず人員の確保が大事だと思う。職員の増員を当会として願ってやまない。

主要事業の「図書館のDX」については、具体的な事業が実施されたことを大いに評価する。事業の検討、コンテンツの選定や予算等様々な問題を乗り越え、芽が出て若木になり枝葉を広げるよう、また、企業版ふるさと納税での援助も期待したい。

次に、特に印象に残った事業について、「日野本町地区公共施設再編」計画については、「未来への(今の人々からの)贈り物」となる。ワクワクする事業・計画を希望する。

「レファレンスサービス」について、「日野の豆知識」は面白かった。さらなる充実を希望する。

全般的に各地域館(中央図書館も含む)において、様々な企画・協力しての展示等を評価する。これからの「おもしろい」をさらに広げてほしい。特に、高幡図書館の企画「本のシャツを干しましょう」で展示された折り紙のシャツの光景は圧巻だった。「おもしろい」企画だった。

日野ヤングスタッフの活動については、メンバー募集ポスターを新たに作って、反応がありメンバーが増加したことは喜ばしい。今後の活動を期待したい。

「施設の老朽化対策・防災安全対策の推進」については、平山図書館壁面緑化灌水設備修繕は懸案の修繕だったと思うので、今後も緑化を進めてほしい。

最後に、日野市の図書館は、電子図書館事業だけでなく、学童クラブ訪問おはなし会や学校搬送など業務量が増えているのに比べて職員数が増えていない。今後、十分なサービスが継続できるのか心配している。

「図書館の明日」を考えていただくために、図書館のあるべき姿を掲げた「私たちの図書館宣言(図書館友の会全国連絡会 2012)」の解説から一部引用する。「潤沢な資料と情報があったとしても、必要な人に、必要とする時に手渡すことができれば意味がありません。社会が複雑化し情報過多であればあるほど、収集・整理・保存・提供には専門知識と経験が必要です。職務倫理を備え、実務経験を積み重ねた職員、館長のいる司書職制度が確立した図書館が公共サービスを支え、質を高めます。」

(2) 図書館の自己評価

【図書館のDX(公立図書館及び学校図書館DX化事業)】

図書館の新規事業として7月より、電子書籍を導入・提供した。来館が難しい利用者へ電子図書館サービスを提供することができた。日野市立小中学校全児童・生徒に対しIDを交付し、身近な読書環境を整備することができた。サービス開始から9か月で貸出数は11,000件を超え、閲覧数は約98,000回となった。日野市での企業版ふるさと納税活用にかかる地域再生計画について国の認定を受ける際に具体的な取り組み事例として選定された事業となった。「日野市DX推進計画 令和6年度前期アクションプラン」における事務局評価は「A」であった。サービス開始前に登録キャンペーンを行ったことで、新規登録者数が令和5年度より増加した。サービス開始後も多様な手段で広報を積極的に行った。年末年始に実施したおみくじ企画は市民からの反響も大きかった。今後もさらなる利用の促進に取り組んでいく。

電子書籍は利用率の維持が課題である。そのためには魅力あるコンテンツを継続して導入することが重要であり、資金調達がカギとなってくる。企業版ふるさと納税の制度の活用などにより財源確保に努め、また、サービス認知度向上のため職員が創意工夫し取り組んでいく。

令和5年度に契約期間が満了した公共及び学校図書貸出システムについて1年間延長していたが、更なる延長を要請したところ令和7年6月末が限界であるとの回答であった。そのため契約事業者選定プロポーザルを実施した結果、現行システムとは異なる事業者に決定した。学校図書館システムを含む図書館業務システム全体の更新にかかる費用は全体で3億円弱の規模であったが、物価高や人件費高騰の中でそれまでの事業総額を下回る成果を出すことができた。令和7年7月ランサムウェア感染対策に対応する新システム稼働に向けたシステム構築業務をスタートさせた。

【第4次日野市立図書館基本計画・第4次日野市立図書館子ども読書推進計画の推進】

令和5年3月策定第4次日野市立図書館基本計画に基づき、次のような重点施策を実施した。

中央図書館の「国の登録有形文化財」への登録をめざし、準備として見学会・講演会を実施した。多くの参加者があり、市民の関心の高さをうかがえた。今後もイベントの企画等を通じて、地域のシンボルとなることをめざす。

日野図書館では「日野本町地区公共施設再編基本構想・基本計画」庁内ワーキンググループに参加し、会議等で話し合いを進めてきた。企画部担当が中心となって令和7年3月計画を策定した。

歴史的公文書のデジタル化については、今年度も助成金で公文書のデジタル化を進めた。図書館ホームページに資料を追加し、日野市公式ホームページでも閲覧できるようにした。

各地域館では、その地域の特色を活かし、また周辺施設と連携して地域の文化活動を支える取り組みを実施した。どの館も人的・予算的制約がある中、工夫して事業に取り組んだ。

また、第4次日野市子ども読書活動推進計画に基づいて、令和6年度事業を進めてきた。小中学生へのサービス・学校支援では、初めての取り組みとして特別支援学校への読み聞かせ訪問を行った。また、「日野ヤングスタッフ」では新規メンバーが加入したこともあり、イベントを開催するなど積極的な活動がみられた。なお、第4次子ども読書推進計画は計画期間が令和6年度までだったが、計画途中に新型コロナウイルスの影響により計画内容を当初想定していた通りに実施することができなかったため、途中で改定版を作ることとし令和8年度まで延長した。

各事業における図書館の自己評価は、次ページ以降の評価表のとおりである。

7 令和6年度主要事業／第4次日野市立図書館基本計画の取組内容

○ 取組内容目次

令和6年度主要な取組（主要事業）	14
1 図書館のDX（公立図書館及び学校図書館DX化事業）	14
第4次図書館基本計画に基づく令和6年度重点項目	16
2 レファレンスサービス・読書相談サービスの充実	16
3 高幡図書館の取組み	18
4 日野図書館の取組み	20
5 多摩平図書館の取組み	23
6 平山図書館の取組み	25
7 百草図書館の取組み	27
8 市政図書室の取組み	29
9 移動図書館「ひまわり号」の取組み	31
10 中央図書館の取組み	33
11 乳幼児へのサービス	35
12 小中学生へのサービス・学校支援	38
13 青少年へのサービス	42
14 図書館の利用に障害がある方の読書環境の整備	44
15 図書館の魅力や活動を市民に広めていきます	47
16 施設の老朽化対策・防災安全対策の推進	49
17 職員研修の充実と職員の育成	50

令和6年度主要な取組（主要事業）

事業項目 1 図書館のDX（公立図書館及び学校図書館DX化事業）
事業の概要
■ 市立図書館において、新規事業として7月より、児童・生徒や図書館への来館が難しい利用者（働き世代や身体が不自由な方など）向けに電子書籍を導入・提供することで、利用者が本や情報と出あい、発見する環境や機会を創出・拡充する。 ● 一般向け ・ 図書館に来館しにくい世代・利用者向けに電子書籍を導入し提供する ・ 非来館での本人確認により、来館せずに電子書籍を利用できる環境を整備する ● 児童・生徒向け ・ 児童・生徒向けの電子書籍を導入し提供する ・ 読み放題（アクセス数に制限されない）コンテンツの導入により、児童・生徒の「今、読みたい」気持ちに応える ・ 市内に通う全児童・生徒に対し、利用者IDを交付する ・ GIGAスクール構想にて整備された一人1台の学習者用端末を利用して、インターネット上の「ひの電子図書館」を楽しめる環境を整備する
事業の成果
■ 令和6年度実績（令和6年7月2日～令和7年3月31日） ・ 電子書籍の貸出数 11,484 件／閲覧数 97,616 回 ・ 電子図書館新規登録者数 18,953 人（一般 5,253 人、児童・生徒 13,700 人） ・ 利用者数 9,129 人 ・ 電子書籍コンテンツ数 3,252 点（うち児童書は約 1,100 点） ・ 企業版ふるさと納税の認定（「ひの電子図書館」は日野市での企業版ふるさと納税活用にかかる地域再生計画について国の認定を受ける際に具体的な取り組み事例として選定された事業である。なお、対象事業が延長されるかは国の決定による） ■ ひの電子図書館に対する反響・反応など ・ 「電子図書館はいっぱい本があって楽しい」（移動図書館利用の小学生） ・ 子どもが「電子書籍を紹介するおみくじ」を楽しんでいた。（年始開館時の窓口にて） ・ 2月1日（土）東京新聞朝刊の投書欄に、「電子書籍を紹介するおみくじ」についての日野市民の投稿が掲載された。 ・ 学校用ID配布時のプレスリリースに対し、J:COMから取材があり、ジモトピックスで放送された（10月19日（土）～10月25日（金））。 ・ 「日野市DX推進計画 令和6年度前期アクションプラン」における事務局評価は「A」であり、「令和6年度目標に対して、おおむね達成できている。電子図書館のニーズは高いと思われるので、来館しない住民への啓発や学校との連携を引き続き強化してください」とコメント（評価）された。

事業の課題と改善策

【課題】

- ・ 資金の調達(特に電子書籍の利用料)
- ・ サービスの認知度向上や利活用

【改善策】

【令和7年度の取り組み・方針】

電子書籍の活用により市民生活の向上や、読書のすそ野を拡大することを目指す

- ・ 市内小・中学校との連携(ヒアリング、授業見学などを通して、電子書籍の最適な活用を目指す)
- ・ 地域との連携(地域書店や市内在住作家とコラボした企画の検討・準備)
- ・ 市民の電子図書館利用の促進(積極的な情報発信、アンケートの実施、電子書籍や様々な読書スタイルの提案)
- ・ 企業版ふるさと納税制度の受入開始・活用
- ・ 初年度に培ったノウハウを生かして運営を効率化

※ 達成度の確認方法…電子図書館アンケートの実施、統計(貸出・閲覧回数など)、小・中学校の不読率

第4次日野市立図書館基本計画の取組

事業項目	2 レファレンスサービス・読書相談サービスの充実（1-2-③）
事業の概要	■ 市民が自ら調べ、学習し、課題を解決するために、レファレンス資料の充実を図る。 ■ 特定のテーマや課題について、資料や情報を探すための手引きとなるパスファインダーの作成に取り組む。各地域館では、地域に関連のあるパスファインダーを作成する。 ■ 様々な機会を使ってレファレンスサービス・読書案内をPRする。 ■ ホームページの内容の追加・更新を行う。
事業の成果	■ レファレンス資料の充実 中央図書館レファレンス室で、辞書、事典、地図等の資料を新たに約200点購入した。蔵書点検により不明資料を洗い出し、資料の補充を行った。また、受け付けた質問をすべて記録し、問い合わせの多い分野や主題の資料を参考に資料選択に活かした。さらに、利用者からの意見を参考にして資料を補充することができた。一例として、エスペラント語から日本語の辞典はあるのに日本語からエスペラント語の辞典はないとの意見から、『日本語エスペラント辞典』を購入した。 ■ パスファインダーの作成 中央図書館レファレンス室で日野市に関する質問を受けた際に紹介した資料を中心に、「日野の豆知識」というシリーズでパスファインダーを4種類作成し、入口近くの書架の上に設置した。 ■ レファレンスサービス・読書案内のPR ○ 図書館報「ひろば」2025年3月号に掲載した「レファレンス室だより」で、レファレンス室に配架した新刊書について紹介した。積極的に紹介することで貸し出しされた資料もあった。 ○ 中央図書館レファレンス室で、地域資料のミニ展示を月ごとにテーマを替えて行った。9、10、11月の3か月は、図書館実習の大学生に選書とPOPの作成を依頼した。普段職員が選ばないような展示となり、新鮮だった。展示図書はカウンターに設置しているので、利用者の方が手に取ってくれているのが直接分かり、「この時自分が参加していた」や「面白い資料がありますね」など会話のきっかけとなり、利用者との交流の機会となった。 ○ オンラインデータベースの利用案内がわかりにくく利用者の誤解を生じていたので、わかりやすく整え掲示した。 ○ 2階にレファレンス室がある事を目立たせるよう、日野市立図書館応援キャラクター「のら」の看板を設置した。この看板設置後、親子連れが何組か見に来た。何度も訪れる家族も見受けられ、レファレンス室に対する心理的なハードルが下がった。 ○ 国会図書館レファレンス共同データベースにレファレンス事例を1件掲載した。 （内容：日の出桟橋、芝浦方面から神津島・大島・式根島方面に出航していた貨客船のトン数） ○ キャレルの5席分を自習も可能な席として開放した。このことにより前年度より利用が1,256件増加した。（今年度利用数 3,409件〈うち自習席 1,117件〉前年度 2,153件）

■ ホームページの内容の追加・更新

市政図書室での資料展示「日野市で暮らした洋画家 野村千春」の開催に合わせて、図書館ホームページの「日野市についてよくある質問(レファレンス事例集)」に、「日野市で暮らした洋画家の野村千春について知りたい」を掲載した。

事業の課題と改善策

【課題】

- ・ レファレンスサービスの認知度向上
- ・ レファレンス事例の蓄積とデータ化

【改善策】

- ・ 市民がレファレンスサービスを身近に感じ、利用してみようと思えるような取り組みとして、入口付近にパスファインダー等を置くコーナーを設置する。過去に受けた質問や調べ方、図書館作成のリスト等を置くことで質問しやすい雰囲気を作る。
- ・ 引き続き、地域資料に限らないレファレンス事例、テーマ資料リストのホームページでの紹介の準備として、国立国会図書館レファレンス共同データベースに事例の蓄積を増やしていく。

事業項目 3 高幡図書館の取り組み (2-1-③ 地域館ごとの取り組みの充実 (1)高幡図書館)
事業の概要
特性を活かした地域館の取り組みの充実。 ■ 若い世代の活発な読書活動を支援します ■ 七生地域の文化活動を支える拠点となります ■ 人と地域の交流により地域の活性化を促します ■ 利用者の高齢化にも対応し、幅広い年齢層にとって利用しやすい図書館をめざします
事業の成果
■ 地域の活性化を促し、文化活動を支える拠点を目指す ○ 地域の情報発信センターとして、地域情報となるポスター、チラシ、配布物を収集し、掲示した。 ○ 11月には、新選組のふるさと歴史館、郷土資料館と連携し、「多摩動物公園と七生村・京王線」をテーマに、関連図書とパネルの展示を行い、七生地域の歴史を紹介した。 ○ 例年通り「日野まちゼミ」関連図書(図書館職員による選書)の展示を行い、「日野まちゼミ」をPRし、地域の活動を支援した。 ■ 乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層に利用しやすい図書館へ ○ 大活字本13冊を購入し、利用の少なくなった資料との入れ替えを図った。 ○ 高齢者や身体の不自由な方、乳幼児連れの方などが図書館の利用に不自由がないように、閲覧席を補充した。また、貸出窓口で図書館から借りた本を整理しやすいように荷物台を設置した。 ■ 子どもからの発信を活かした展示と読書活動の支援 ○ 中学生の職場体験時に同世代へのおすすめ本のPOPを作成してもらい、本と一緒に展示した。 ○ 夏休みの時期におすすめしたい本の題名を折り紙のシャツに記入してもらい館内に張り出す「本のシャツを干しましょう」の展示企画を実施した。子どもだけでなく保護者の参加もあり、約300冊の本が紹介された。 ○ 高幡図書館を「ヤングスタッフ」の活動の拠点とし、若い世代の読書活動を支援した。 ※「13 青少年へのサービス」の項を参照 ○ 小学生を対象とした「たかはたブッククラブ」の充実 - 令和6年度も、連続した3か月を1期として全3期を実施し、(第1期5～7月、第2期9～11月、第3期1～3月) 延べ31名の参加があった。 ※「12 小中学生へのサービス・学校支援」の項を参照 ○ 都立七生特別支援学校小学部への読み聞かせ訪問 - 高幡図書館での館内閲覧、資料の貸出、特別おはなし会など、以前より連携を図ってきた都立七生特別支援学校からの依頼で、小学部全学年への読み聞かせ訪問を行った。あらかじめ学校と調整を図り、事前訪問を経て、12月19日(木)に訪問・実施した。児童、先生から好評で、次年度以降も継続しての実施を希望された。特別支援学校への読み聞かせ訪問は初めての試みで、職員にとっても貴重な経験となった。

課題と改善策

【課題】

- ・ 地域にかかわる資料の整理、利用者への案内が不足している。
- ・ 書架の状態を常にチェックし、過重とならないように除架をすすめる。
- ・ 特別な支援が必要な子どもたちへのアプローチを適切に積極的に行う。

【改善策】

- ・ 図書館と地域の暮らしが繋がっていることを他部署との連携を通じてPRする。令和6年度に実施した郷土資料館との共催展示も引き続き今年度も行う。郷土資料館をはじめとした他部署との協働展示を行い、利用者の興味を刺激するような資料提供を行う。また、子育て関連他部署との連携事業も積極的に行っていく。地域に関する資料、高幡不動関連資料コーナーを段階的に充実させていく。
- ・ 適切に書架の状態、過重状況などをチェックし、耐荷重を超えないような適切な資料配架を心がける。
- ・ 令和6年度初めて都立七生特別支援学校小学部への読み聞かせ訪問を行った。引き続き依頼を受け、昨年度の経験を活かし継続していく。また、毎年依頼のあるわかば教室(不登校児支援教室)への事業も引き続き対応する。

事業項目 4 日野図書館の取り組み (2-1-③ 地域館ごとの取り組みの充実 (2)日野図書館)
事業の概要
特性を活かした地域館の取り組みの充実。 ■ 親子連れ、高齢者に寄り添います ■ まちの情報センターとして、地域情報の収集・発信を行います ■ 地域づくりに関する活動を支援します ■ まちのアンテナとしての日野宿発見隊をサポートします
事業の成果
■ 周辺施設との連携 ○ 中央公民館やひの児童館、日野市社会福祉協議会など地域の施設の職員が集う「日野宿周辺施設情報共有会議(ご近所会議)」で月1回情報交換を行った。会議を行うことで、地域の施設間で協力体制が築かれ、継続して以下の連携事業に円滑に取り組むことができた。 ・ ひなまつりの時季に、中央公民館の事業に協力し、つるし雛を日野図書館館内に飾った。展示期間は、2月18日(火)～3月9日(日)。 ・ 日野図書館おすすめ本コーナーをひの児童館に設置し、月替わりで25冊の児童書を置いてもらった。このコーナーを楽しみにしている子も多いと聞き、5冊増やした。 ・ ひの児童館のイベント「ひのっこあつまれ！まつり」(5月26日(日))にスタッフとして参加した。地域の方や近隣大学生と一緒にリサイクル品頒布を担当し、多くの方と交流するよい機会となった。 ○ まちの情報センターとして、以下の取り組みを行った。 ・ 書架を増設し、地域情報コーナーの拡充を図った。 ・ 日野宿交流館に毎月訪問して掲示・配布物や商品を確認し、交流館の職員と情報交換をした。交流館の施設内の状況を把握しておくことで図書館利用者へ正確な情報を提供することができた。 ・ 新選組関係の資料の収集を継続した。「新選組を読む・調べるために」を改訂し、図書館ホームページに掲載している情報をその都度更新した。 ○ 日野本町地区公共施設再編事業に取り組んだ。(継続) ・ 令和6年度は、「日野本町地区公共施設再編基本構想・基本計画」策定に向けて、庁内ワーキンググループ(WG)会議に全5回参加した。(4/23、7/19、10/16、11/20、1/16) ・ 企画部担当(コンサルタント含)からのヒアリングを随時受け、情報提供を行った。また必要に応じて現場確認も行った。 ・ WG会議後は図書館係長会等で進捗状況を報告して職員に周知した。 ・ 関係する施設とは「日野宿周辺施設情報共有会議(ご近所会議)」等で情報共有を図った。 ・ 「日野本町地区公共施設再編基本構想」(令和7年3月)を企画部担当が中心となって策定した。 ■ だれもが気軽に立ち寄れる図書館を目指して ○ 親子へのサービス 児童室の「よんでみませんか」コーナーでは、季節や時事に合わせて新刊図書やおすすめ本を表紙が見えるように配架した。今年度は絵本を中心に年間100冊以上展示・貸出した。面出しする本は配架するとともに手に取られ、とてもよく利用された。

○ 大活字本の充実

大活字本を新たに120冊購入した。また、他館から移管したものを配架して書架に新鮮味を持たせることができた。蔵書数が増え、書架に並ぶことで認知度も上がり、問い合わせも増えた。

○ 季節感のある装飾と地域の方とともに取り組む敷地内の美化

絵本コーナーでは、四季折々の装飾によって季節感を持たせることができた。利用者からも「このコーナーは季節を感じられてとてもいい」「いつも楽しみにしている」など、好意的な声が寄せられた。窓の外側にはアサガオで緑のカーテンを作り、花壇に草花を植えるなどの手入れをした。今年度は予算を確保して大きな樹木の剪定を行った。低木の剪定や草むしりなどは、隣家の協力を得て、美化に努めた。協働することで、市民との交流を深めることもできた。

■ 日野宿発見隊のサポート

まちのアンテナとして活動する日野宿発見隊を支援し、まちの魅力を発信している。令和6年度は日野宿発見隊とともに、以下の活動に取り組んだ。

○ 「スタンプラリーin日野宿2024」を5月11日(土)に開催した。好天に恵まれ、小さな子を連れた家族など、大勢の参加があった。(スタンプ帳頒布数は479冊) ボランティアとして、地域の方をはじめ、日野高校の生徒有志や近隣の大学生、東京日野国際学院の学生など110名の協力を得た。

○ 新東光寺地区センター前の用水で生き物を捕り、観察する企画「夏休み！親子で調べよう日野用水」を7月20日(土)に実施した。子ども9名、保護者8名が参加した。(スタッフ11名)

○ 八坂神社の例大祭の開催に合わせた取り組みを実施した。

・ 「八坂の祭り写真展」を9月1日(日)～30日(月)に実施した。合計75点の写真パネルを玉垣等に展示した。多くの観覧があり、図書館にも「とてもよかった」という声が届いた。

・ 「日野宿 秋の灯(ひ)」と題して日野図書館前行灯を約20基展示した。(9月10日(火)～16日(月・祝) 行灯に貼るイラストを一般募集し、集まったイラストを日野宿発見隊員が木枠に貼って行灯を制作した。写真を撮る人も多く、「図書館の外観とマッチしていい」という声も多かった。

○ 「出水操作品展」を11月9日(土)・10日(日)に開催した。七生中学校への赴任をきっかけに多摩・武蔵野の風景を描き始めたという出水操先生が描いた作品を通し、日野市の魅力を再発見することを目的に企画した。会場は仲田の森蚕糸公園内の、作品の題材にもなった「旧農林省蚕糸試験場日野桑園第一蚕室(通称:桑ハウス)」。「高幡不動尊襖絵「七生の四季」(10枚1組)」のほか、市内の風景画16作品を展示した。先生の家族、教え子のほか、同日開催の「日野市産業まつり」に訪れた市民など、両日合わせて787名(9日320名・10日467名)と多くの来場があった。アンケートでは「とてもいい時間だった」「来てよかった」「是非また開催してほしい」などの意見が多く寄せられ、良い企画になった。

事業の課題と改善策

【課題】

● 近隣の関連施設と更なる連携の強化

- ・ イベント協力だけでなく、「日常的なこと」「小さな出来事」でも繋がり、関わりを持てる環境づくり
- ・ 小中学校との連携が不十分
- ・ 「日野本町地区公共施設再編事業」の令和10年度工事着工を目指し、事業計画を完成させる

● 情報提供コーナーの充実

「見やすさ」「わかりやすさ」「探しやすさ」を考慮したコーナーへの見直し検討

● 日野宿発見隊活動におけるイベント開催時に対応する職員やサポート要員の確保

特にスタンプラリーに関わるスタッフは年々減少している。イベント開催時のスタッフの確保

【改善策】

● 近隣施設との連携

- ・「日野宿周辺施設情報共有会議(ご近所会議)」(月一回)を継続して実施する。
- ・ イベント協力はそのイベントの大小にかかわらず、広く協力し合うようにする。(おはなし会、おたのしみ会への参加、『七夕飾り』の同時開催ほか)
- ・ 近隣の小中学校には、学校訪問や職場体験などを通じて図書館活動のPRに努める。
- ・ 「日野本町地区公共施設再編基本計画」策定に向けて、庁内ワーキンググループ(WG)会議に引き続き参加する。日野図書館の地域館としての役割、今後のあり方を検討するため、係長会での意見集約や図書館職員意見交換会などを行う。

● 情報コーナー等の充実

- ・ 情報コーナーに置くチラシは「イベント内容」「関連施設」ごとにわけて配置してわかりやすくする。
- ・ ポスターの掲示は、その内容や対象に合わせ効果的に掲示できるように場所を見直し、確保する。

● 日野宿発見隊隊員活動について

- ・ 日野宿発見隊の月一回定例会(第四土曜日)を継続し、情報共有を行う。
- ・ 増員に向けて「日野宿発見隊の活動」のPR方法を検討する(学校向け・一般向けなど)
- ・ 図書館内の発見隊コーナーでは、より新しい活動情報を提供し、市民へのPRに努める。
- ・ これまでの各イベント、事業の実績から現状を把握(問題点の洗い出しなど)するとともに図書館の現在の職員体制も十分に考慮して、「実施の有無」「時期・内容の見直し」を検討する。

事業項目 5 多摩平図書館の取り組み (2-1-③ 地域館ごとの取り組みの充実 (3)多摩平図書館)
事業の概要
特性を活かした地域館の取り組みの充実。 ■ 子どもとその保護者の居場所を提供します ■ 本を通じ、周辺施設との交流を促進します ■ 幅広い年齢層のニーズに応えます
事業の成果
■ 小中学生の図書館見学・職場体験の実施 小学校・中学校の児童・生徒の図書館見学・体験の要望に可能な限り応え、工夫して実施した。 例えば、日野第六小学校2年生約150人を迎えたときは、館内数か所に星印と説明をつけてチェックポイントとし、その場所を中心に館内をめぐることで図書館の利用について学べるようにした。 遠方の日野第三小学校には、事前に多摩平図書館周辺や館内を撮影した写真データを送り、図書館職員が小学校を訪問した。当日は、先生が編集した画像を児童に見せながら、まるで多摩平図書館に足を踏み入れたかのような演出で図書館を紹介できた。先生と協働できたことも貴重な体験だった。 ■ 市民と交流がうまれるきっかけづくり 「読書パスポート」をゴールすると受け取れる折り紙のプレゼントづくりに力を入れた。折る職員の個性が出るプレゼントは好評で、それを楽しみに読書に励む子どもたちが多くみられた。プレゼントは透明ビニールケースに入れ、子どもの目線に合わせた位置に配置し、館内の装飾も兼ねた。折り紙のプレゼントは、12月にも活用した。引き出しが25個ついた箱型のクリスマスのアドベントカレンダーを用意し、箱に折り紙のプレゼントを入れて、来館した子どもが引き出しを開け、中のプレゼントを持ち帰る企画を実施した。折り紙をきっかけに、子どもや保護者、その他の大人の方々と図書館職員の交流がうまれた。 ■ 子育て関連施設との連携 多摩平図書館の入居する多摩平の森ふれあい館内の、子育て関連施設との連携を一層深めた。令和6年度も、子ども家庭支援センター多摩平「はぴはぴ」やたまだいら児童館ふれっしゅの職員を図書館のおはなしの部屋に招き、イベントを実施した。子どもの健康に役立つ情報を保護者に提供したり、体を思い切り使って楽しんだり、子どもや保護者へのアプローチの仕方が新鮮で、図書館職員も新たな気づきを得られた。図書館職員が、それぞれの施設へ出向き、絵本の紹介やおはなし会をする機会もあり、連携・協力しながら、子どもや保護者に、本を通じた交流の場を提供することができた。 ※「11 乳幼児へのサービス」の項を参照
事業の課題と改善策
【課題】 ・図書館見学・職場体験の要望に応えられる職員体制の構築 ・折り紙のプレゼント作りの継続および市民との交流がうまれる新たなきっかけの創出 ・子育て関連施設との連携の継続

【改善策】

- ・図書館見学・職場体験の担当者を固定せず、職員だれもが担当できるよう実施マニュアルを作成する。
- ・好評の折り紙作りを継続する。市民と交流がうまれるきっかけとなる取り組みを新たに創出する。
- ・引き続き、子育て関連施設との定期的な情報交換を実施する。

事業項目	6 平山図書館の取り組み（2-1-③ 地域館ごとの取り組みの充実（4）平山図書館）
事業の概要	特性を活かした地域館の取り組みの充実。 ■ 中高年の活躍を応援します ■ 複合施設の特徴を活かし、幅広い年齢層にアプローチします ■ 地域の情報センターとしての役割に努めます ■ 駅前立地を活かし、利用者のすそ野を広げます
事業の成果	■ ヤングケアラー関連資料のテーマ展示 3月23日(日)に福祉政策課が多摩平の森ふれあい館で開催したヤングケアラーについての講演会にあわせて、同課と協同して図書館全館で関連資料のテーマ展示を行い、市民への啓発に協力した。(2月は高幡・平山・百草、3月は中央・日野・多摩平) 平山図書館の職員がこれまで情報収集していたリストから、雑誌や小説なども含めて89冊を選定し、平山図書館だけでなく、各館の展示に役立てることができた。 図書館のホームページだけでなく、日野市のホームページでも啓発・展示についての案内をした。 ■ 駅前立地を活かした施設の整備 安全安心に利用できる施設運営・管理に努めてきたが、令和6年度は、感染症予防対策も継続する中、1階ブラウジングスペース、2階談話室において、以前から「コロナ前の状態に戻してほしい」との要望のあった机・イスを一部再設置し、自習場所の確保拡大に努めた。また、クールスポット指定施設として、駅前に立地する公共施設の役割を果たすことができた。 ■ 地域の情報センターとして本や読書の魅力を伝える ○ 1階廊下・ブラウジングコーナーにて、郷土資料館が実施した3回のパネル展に協力した。 ① 「花も実もある七生丘陵散策コース(樹木編) 3月23日(土)～9月26日(木) ② 「文集『つくし』の生き物たちーひととともにー 9月28日(土)～11月20日(水) ③ 巽聖歌の作品紹介 11月22日(金)～令和7年1月30日(木) ○ 「東京の図書館をもっとよくする会」による漆原宏写真展「図書館の原点を撮して」を実施した(2月1日(土)から16日(日)まで)。新聞で紹介されたこともあり、市内外から多くの方にご覧いただくことができた。 ○ 企画展示を毎月2つ以上実施した。また、時事、季節、周年等のテーマを設定して、できるだけ他館にある資料を児童書や地域資料も含め、やや高齢者を意識しながら選書し、紹介に努めた。
事業の課題と改善策	【課題】 ・ 現在の平山図書館開設年(2008年)から2015年頃までに購入・編入した資料の整理・除架 ・ 複合施設という環境を活かした他部署との連携強化。 ・ 闘病記コーナーの維持、ヤングケアラー関連資料の収集

- ・ 平山図書館運営における業務の洗い出し、マニュアルの整備

【改善策】

- ・ 図書館内の図書費予算配分において増額希望を行い、古くなった資料の更新を図る
 - ・ ノンフィクション(一般書)の中でも、各分野の基本書(入門書)と思われる資料の更新を中心に行う。
 - ・ 予算の関係で更新の手が届いていなかった児童書の更新を行う。特に高学年向きの読み物を中心に新刊購入、定番物の更新を行う
- ・ 「子育て関連書籍コーナー」を設置、「子育てひろばぽっかぽか」にコーナー案内チラシの配置を依頼する。このコーナーには図書費予算配分の増額分で実用書(特に子育て関連資料)を更新し、新しく手に取りやすい資料、関連事業のチラシを配置。職員が出張している「子育てひろばぽっかぽか」でのおはなし会、平山図書館でのおはなし会で、それぞれのおはなし会を周知するとともに、子育て関連本の紹介、図書館利用案内も併せて行う。
- ・ 「ブラウジングコーナー」・「交流センター」の利用者については、「学習」「サークル活動」など利用目的がはっきりしているため、図書館の利用につなげにくい面があるが、学習から少し離れて一息つくための本や、サークル活動に役だつ資料の紹介等、気軽に図書館に来館できるような仕組みを検討する。
- ・ 図書費予算配分の増額分も考慮に入れ、闘病記やがん情報等、新しく正確な情報が求められる健康・医療関連資料を更新し、中高年のニーズに応えられるようなコーナーを維持する。
ヤングケアラーに関する資料については、他館からの移管も含めて収集を継続し、市の施策と合わせた展示の企画等も検討する。
- ・ 今後の職員異動等を考え、業務の洗い出し、マニュアルの作成に取り掛かる。

事業項目	7 百草図書館の取り組み（2-1-③ 地域館ごとの取り組みの充実（5）百草図書館）
事業の概要	特性を活かした地域館の取り組みの充実。 ■ ゆったりと過ごしたくなる滞在型図書館をめざします ■ 百草里山地域の入口として、地域の情報を発信します ■ 本を通じた近隣施設・団体との連携を促進します
事業の成果	■ 百草里山地域の入口として、地域の情報を発信します ふるさと文化財課と連携して、1階ギャラリーにおいて、5回のパネル展示を行った。 ① 6月14日(金)～ 8月9日(金) 「百草倉沢エコミュージアム事業の紹介」 ② 8月9日(金)～ 9月29日(日) 「百草園の礎を築いた青木角蔵展」 ③ 10月5日(土)～ 11月26日(火) 「平山遺跡大型四面廂建物跡」 ④ 11月26日(火)～ 3月26日(水) 「出土瓦が語る中世の京王百草園」 ⑤ 3月26日(水)～ 令和7年度継続中 「百草八幡神社の紹介」 多くの方にパネル展を見てもらい、ギャラリーを活かすことができた。関連資料についての問い合わせも多く、その際に百草地域関連資料コーナーを案内し、レファレンスとして受け付けて、資料『日野市百草倉沢地区歴史散策ガイド』を提供できた。 ■ 近隣施設・団体との連携 ・ 三沢中地区アクションプラン会議(み組)の活動に協力して、イベントなどのポスターを掲示した。 ・ 「NPOおちかわの里」の子どもまつりでは、保存期間の過ぎた雑誌の付録を景品として提供した。 ■ 近隣の中学生によるおすすめ本の紹介 令和6年度の夏休み・春休みに「三沢中ちょこっとボランティア」(三沢中学校生徒によるボランティア体験活動)41名(夏休み28名、春休み13名)を受け入れた。中学生にとって身近な図書館であるようにとの思いから、可能な限り対応した。おすすめの本のPOPを作成してもらい、合わせて59枚をおすすめの本と一緒に展示した。地域の利用者の方にも興味を持って見てもらえ、すべての本が貸し出しされた。
事業の課題と改善策	【課題】 ・ 1階ギャラリーの活用 ・ 展示棚活用等による話題の本の提供 ・ 児童書蔵書の整理 【改善策】 ・ 引き続き百草里山地域の情報発信を含め、ふるさと文化財課の協力を得て、パネル展等を行う。また、ポスター・チラシ類の掲示物を整理していく。

- ・「新刊本」としていた書架の構成を見直し、新刊だけでなくテーマ展示等に係る「話題の本」として、本の表紙を見せるような展示方法としていく。蔵書のポテンシャルをアピールする場として定着させていく。
- ・令和7年度は百草図書館図書費における児童書購入執行率の割合を25～28%程度となるよう調整し、既存蔵書の整理を行う。基本的児童書については、特別予算等を運用し買い替えを進めていく。

事業項目	8 市政図書室の取り組み（2-1-③ 地域館ごとの取り組みの充実（6）市政図書室）
事業の概要	特性を活かした地域館の取り組みの充実。 ■ 市の施策をわかりやすく市民に伝えます ■ 地域の情報と市民をつなぐ窓口となります
事業の成果	■ 「日野に暮らした文化人」の紹介 ・日野に暮らした洋画家・野村千春に関する資料を新たに19点収集した（古書購入、寄贈、複写等）。 ・10月15日（月）から12月28日（土）まで、ミニ展示コーナーで、資料展示「日野市で暮らした洋画家・野村千春」を開催し、関係資料52点を展示した。諏訪市美術館、八ヶ岳美術館、日野市郷土資料館と連携し、資料収集や展示開催の情報発信を行った。 ・図書館ホームページの「日野市についてよくある質問（レファレンス事例集）」に、「日野市で暮らした洋画家の野村千春について知りたい」を掲載し、関係資料を紹介した。 ■ 資料・情報の収集・提供・保存 ・「地域・行政資料デジタル」内に新たに82点の資料を追加した。令和7年3月31日現在の公開件数は1,251点となった。 ・ふるさと文化財課との共同事業（予算担当はふるさと文化財課）で、令和4年度からの継続事業である七生村行政文書 24,126 コマをデジタル化した。また、公益財団法人図書館振興財団の令和6年度振興助成による助成金で、日野町・日野市行政文書 41,774 コマをデジタル化した。 ・「歴史的公文書デジタル化事業」のこれまでの成果を紹介する「日野市の歴史的公文書パネル展」を、市役所本庁舎の市民ホールで令和7年3月26日（水）から4月24日（木）まで開催した。 ・デジタル化後に内容確認を行い、公開可能となった歴史的公文書5点を、図書館ホームページの「地域・行政資料デジタル」の「歴史的公文書」に追加した。日野市公式ホームページでも閲覧できるようにした。 ■ 「多摩郷土誌フェア」への参加 東京都市社会教育課長会文化財部会が開催する第37回多摩郷土誌フェア（1月18日（土）、19日（日）・立川市柴崎学習館）に参加し、ふるさと文化財課と連携し、日野市の刊行物を広く紹介した。53冊、46,600 円を販売した（令和5年度は 88 冊、65,000 円）。
事業の課題と改善策	【課題】 ・「日野に暮らした文化人」を広く紹介する資料展示を今後も継続して実施できるよう、資料費の確保とともに、資料収集や情報発信で連携するネットワークを作ることのできる職員を増やしていくことが必要。 ・デジタル化の予算の継続した確保。 ・市政図書室内の書架が煩雑になっているため整理が必要。

【改善策】

- ・積極的に地域や他課との連携を図り、資料・情報を収集する。
- ・資料展示を担当する職員を増やし、ノウハウやネットワークを確実に継承していく。
- ・補助金や助成金の情報を集め、活用することで、デジタル化の予算を確保していく。
- ・資料の整理については、令和7年度から本庁舎5階の旧生涯学習課のスペースの一部を使用することが出来るようになったため、市政図書室内の資料の一部をそちらに運び込む。

事業項目	9 移動図書館「ひまわり号」の取り組み
	(2-1-③ 地域館ごとの取り組みの充実 (7)移動図書館「ひまわり号」)
事業の概要	
特性を活かした地域館の取り組みの充実。	
	■ 市内のどこでも図書館サービスを利用できるよう、建物の図書館を補完します
	■ 地域住民の交流のきっかけとなる場をつくれます
	■ 子どもたちが“身近に本とふれあえる場”をつくれます
	■ より一層市民にとって親しみやすい図書館をめざします
事業の成果	
	■ 移動図書館「ひまわり号」の定期巡回と団体貸出
	○ 「ひまわり号」は定期的に同じ場所・時間に市内21か所を巡回することで「どこでも」を実現し、多くの市民に利用された。個人貸出のほか53の登録団体に定期的に団体貸出を行った。(保育園・幼稚園・学童クラブは年2回、七生病院は月1回)
	【実績】 個人貸出
	年間利用者数 3,714 人 (3,884 人)
	貸出冊数 19,563 冊 (21,402 冊)
	延べ巡回回数 475 回 (470 回)
	定期利用団体貸出
	定期利用団体数 53 団体(保育園、学童クラブ、病院)
	(令和5年度53団体)
	貸出冊数 16,300 冊 (16,531 冊)
	延べ巡回回数 114回 (114 回)
	※()内は令和5年度の数値
	○ 利用者ニーズの把握として、個人貸出巡回先(21か所)の実利用者数の集計を引き続き行い、巡回の場所や時間などを見直し、検討を進めた結果、巡回先の変更はしなかった。
	■ 利用者を増やすための取り組み
	○ 個人貸出巡回先では、巡回時に日程表のチラシを配布するなど巡回のPRを行った。
	○ 「旭が丘地区センター」で実施する絵本の読み聞かせは、月2回の巡回に合わせ計24回開催した。
	【実績】 保育園 1園 (園児8人 先生2人)
	個人 子ども 68人 大人 58人
	○ 「旭が丘地区センター」「石田環境プラザ」の両施設内に250～300冊ほど常置している図書館資料の入れ替えを行なった。年2回、毎回約50～70冊、新刊本や季節に合わせた資料を配架した。
	○ 「石田環境プラザ」へは、リサイクル雑誌を昨年同様、要望に沿った分野のものを年間約200～250冊提供した。施設利用者層にあわせた資料を提供することで、多くの利用に閲覧されている。
	■ 子どもたちの身近な読書のきっかけづくり
	○ 日野市発達・教育支援センター「エール」へのイベント巡回を2回実施した。施設を利用する子どもた

ちに、より多くの本に親しむ機会を提供することができた(9月17日(火)と10月22日(火))。

- みさわ児童館(2月26日(水))「ひまわり号(移動図書館)がやってきます)」とひの児童館(12月25日(水))「ひまわり号がやってくる)」にイベント巡回を実施し、図書の貸出しを行った。児童館利用者への「ひまわり号」のよいPRとなった。

■ イベント等への参加、PRの実施

- 「ひの新選組まつり2024」の2日目(5月12日(日))に参加した。ひの児童館前に出展したこともあり、より多くの子どもたちに参加してもらうことができた。市内外の方に広くPRすることができた。
- 実践女子大学の学園祭『常磐祭』に参加した(11月10日(日))。貸出者数7名、貸出冊数12冊、のべ267名の来場者があった。学園祭に参加することで、学生だけでなく、広く市民へPRすることができた。

※ どちらのイベントも図書の貸出のほか、子ども向けの各種工作、また、ひまわり号の運転席に乗って写真を撮れるようにし、子どもたちに好評だった。

- 図書館報「ひろば」で毎号、巡回日程表を掲載した。また、各イベントへの参加状況や報告などを掲載して活動のPRを行った。

事業の課題と改善策

【課題】

- ・ 「移動図書館サービス」自体をより多くの市民に周知すること。
- ・ 市民が安心かつ安全に利用できるよう、車両の更新。
- ・ 団体貸出における新規巡回希望団体への対応。
- ・ 個人巡回サービスを有効かつ効果的に実施するため、特に利用者が減少しているサービスポイントにおいては、巡回の廃止、PRによる利用者増を図り、引き続き巡回サービスの在り方を検討する。

【改善策】

- ・ 館報「ひろば」に定期的に活動状況を掲載する。また、市報「広報ひの」へ図書館特集の掲載依頼を行ない、移動図書館のPRを行う。
- ・ 巡回スケジュールをホームページのお知らせで、毎週周知していく。
- ・ 庁内掲示板を活用した他部署へのPRを含めて、各媒体でより効果的なPR方法を検討して取り入れる。
- ・ 市内で実施されるイベントへは図書館の広告塔として積極的に参加する。
- ・ 市内大学へは引き続き市立図書館活動のPRを行なう。また、近隣大学の学園祭参加など、地域や地域内の各団体のイベントに移動図書館ひまわり号が参加していく。
- ・ 「移動図書館の今後のあり方」について、図書館全体で検討して決定する。
- ・ 移動図書館車両の現行仕様書の見直し作成。より早い実施に向けて取り組む。
- ・ 個人貸出は過去数年の利用実績から、巡回時間の見直しやサービスポイントの統廃合を検討するとともに、新規巡回場所の調査を行う。

事業項目 10 中央図書館の取り組み (2-1-③ 地域館ごとの取り組みの充実 (8)中央図書館)
事業の概要
特性を活かした地域館の取り組みの充実。 ■ だれもが気軽に立ち寄ることができ、交流のうまれる場所となります ■ 本が大好きな子どもを育てます ■ 豊富な蔵書を有し、市民を広い世界につなげるかけ橋となります ■ 地域館をサポートし、地域の文化を支えます
事業の成果
■ 中央図書館「国の登録有形文化財」への登録をめざす ・ ふるさと文化財課と連携し、「保存活用計画」策定委員会を開催し、文化財登録への準備を行った。 ・ 文化財登録の機運醸成を図るため、見学会・講演会を実施した。予想よりも多くの参加者が集まり、市民の関心が高いことを感じた。 (1) 12月21日(土)「鬼頭梓と図書館」～中央図書館の建築についての講演会と見学会～ 建築家:藤原成暁さんの講演 中央図書館バックヤード見学会 事前申し込みではなかったが、読売新聞の記事や図書館窓口で配布したちらしやポスターで知った方など、71名の参加があった。 (2) 2月1日(土)「日野市の図書館 歩みと建築」～登録有形文化財への登録に向けて～ 講談師:田辺凌鶴氏の講談「移動図書館ひまわり号」 大学教授:松隈洋氏の講演「建築家・鬼頭梓が図書館建築に求めたもの」 事前申し込みの50名とスタッフ・関係者23名が参加。後日、講演会の全編をYouTubeで動画配信した。「心動かされた」「有意義なお話だった」など多くの感想が寄せられた。中央図書館が市民から必要とされ、愛着をもたれていることをあらためて認識することができた。 ■ 中学校が作成した「本の紹介カード」の展示 大坂上中学校の1年生が国語の授業で作成した「本の紹介カード」を、図書館で展示することで多くの市民の方にみてもらいたいと学校から依頼を受け、11月の1か月間、カードとともに紹介された本を入口近くのコーナーに展示した。中学生が作成したカードはデザインも優れていて、利用者の目を引き、足を止める姿が見られた。多くの本が貸出され、同じ本をほかの分館から取り寄せて補充したが、それもすぐに貸し出されてしまうような状況だった。 日野図書館・多摩平図書館も同じ依頼を受けて、同様に実施した。 ■ 実践女子大学の学生による図書館を使った平和学習への協力 ・ 平和と人権課の「令和6年度平和活動推進補助金交付決定事業」の一つで、実践女子大学の学生が企画した「みんなでつくる『人生100年時代の平和学習プログラム』～本でつながる平和のワ～」に協力した。イベントの会場を提供し、また、バックヤードツアーの実施や絵本の選書や本の貸出、制作物の展示などを行った。 全2回のイベント概要は以下のとおり。 (1) 7月20日(土) 17時～19時30分 (会場:中央図書館)

① 中央図書館のバックヤードツアー(図書館職員2名がガイド役) ② 学芸員から日野のまちと戦争の関わりについての話を聞いたあと、図書館職員が事前を選んだ戦争と平和についての絵本から気に入った一冊を子どもたちが選ぶ (2) 7月28日(日) 13時～15時30分 (会場:多摩平の森産業連携センターPlanT) ① 平和について考える絵本の発表 ② 本の紹介POP作り ・ イベント終了後の8月に、POP と紹介した絵本を展示した。多くの本が貸出されたため、同じ本をほかの分館から取り寄せて補充した。 ・ この事業の補助金を活用して制作した絵本「今日、平和のためになにしよう」は、図書館に寄贈され、蔵書として活用されている。
事業の課題と改善策
【課題】 ・ 地域の交流拠点の役割としては十分ではないが、「国の登録有形文化財」への登録申請を機に、中央図書館が地域のシンボルとなるような機運を醸成する。 ・ 子どもたちが本や図書館を好きになってくれるような仕組みづくり。 ・ 庁内他部署からの依頼が増え、庁内における図書館の認知度が上がったことに応えられる体制づくり。 ・ 書庫の蔵書の適切な保存管理と書庫の整理 【改善策】 ・ 中央図書館をもっとよく知ってもらえるよう、閉館後の図書館を利用したイベントを企画する。 ・ 夏休みなど子どもたちがたくさん来館する期間にオススメ本を紹介するカードを書いてもらい、掲示するなどの企画を実施する。 ・ 庁内他部署からの依頼については、現状の人員で可能な範囲で受け付ける。(例えば、中学校の職場体験の受入れ人数を4人から2人に減らすことで、担当職員を2人から1人に減らすことができる) ・ 必要な蔵書を保存していくために、書庫を確保する努力を継続して行う。 ・ 引き続き、地域館のレファレンスサービスの支援・協力を行う。

事業項目11乳幼児へのサービス

(3-1-①第4次日野市子ども読書活動推進計画の推進(1)乳幼児へのサービス)

事業の概要

第4次日野市子ども読書活動推進計画にも基づき、0歳児から就学前までの乳児・幼児および保護者の読書活動を推進する。

事業の成果

図書館でのおはなし会の実施

令和6年度は、以下の通りおはなし会を実施した。

中央・高幡・多摩平・平山・百草図書館は、0・1・2歳の会を毎月実施した。

中央・高幡・多摩平・百草図書館は、3・4・5歳の会を毎月実施した。

日野図書館は、年齢制限なしのおはなし会を毎月実施した。

百草図書館では、年間予定を入れたお知らせを配布した。

おはなし会の実施状況

館名	0・1・2歳			3歳から未就学児		
	回数	参加者数		回数	参加者数	
		乳幼児	大人		乳幼児	大人
中央	11	55	53	11	27	23
高幡	12	69	73	9	18	15
多摩平	11	130	123	12	45	32
平山	8	10	10	なし		
百草	11	56	50	12	46	32

日野	10	18	17	(年齢制限なし)
----	----	----	----	----------

(注1)年間12回に満たないのは、参加者0のときがあったため

出張おはなし会・他機関の講座への参加・他機関との連携

他機関での乳幼児へ向けての行事に、図書館職員が出向いて、参加した。

○平山図書館2階子育てひろば「ぽっかぽか」でのおはなし会(毎月第1木曜日開催):12回
乳幼児79名 大人59名参加

○地域子ども家庭支援センター多摩平「はぴはぴ」のミニ講座「絵本について」に多摩平図書館から職員2名が講師として参加した。0歳児と保護者の11組に、絵本の紹介、読み聞かせ、本の貸出、図書館紹介をした。終了後、図書館利用される方もあった。(4月25日(木))

○「はぴはぴ」の職員2名が、多摩平図書館おはなしの部屋で手あそび、パネルシアターの会を行った。親子8組参加(5月31日(金))。

○地域子ども家庭支援センター万願寺「にこにこ」のミニ講座「絵本について」に高幡図書館から職員2名が講師として参加した。0歳児と保護者の9組に、絵本の紹介、読み聞かせ、本の貸出、図書館紹介をした(6月27日(木))。

○「はぴはぴ」の「あつまれ!ちびっこ親子たち」コーナーの一角でおはなし会と絵本の紹介、読

み聞かせをした。親子35組参加（9月19日(木)）。

○ たまだいら児童館「プチすくすくくらぶ」の講座に多摩平図書館から職員2名が講師として参加した。0歳児と保護者の7組に、絵本の紹介、読み聞かせ、図書館紹介をした（10月2日(金)）。

○ たまだいら児童館の職員4名が、多摩平図書館おはなしの部屋でパネルシアター、折り紙などの会を行った。子ども22名、大人21名参加（3月21日(金)）。

■ 図書館ホームページコンテンツの充実

○ 図書館ホームページに掲載している「これからお子さんを迎える方向けのリスト」に新しい本を15冊追加した。

○ 図書館ホームページ「こどものページ」で新しい絵本を毎月1～2冊紹介した。夏休みに向けておすすめの本を紹介する夏リスト「ひんやりする本」を作成し、図書館ホームページでも11冊を紹介した。

■ 「絵本のおたのしみ袋」の貸出

秋の読書週間にあわせて、「おたのしみ袋」の貸出をした。（11月1日(木)～）令和5年度と同様に中身が見えないように紙袋に入れ、季節の絵本や、おすすめの本を3冊ずつ入れた。今回も「いつもと違う絵本を見ることができてよかった」などの声があり、好評だった。紙袋に貼るお知らせもわかりやすく工夫した。11月中には、全て貸出された。

※ 作成したおたのしみ袋の数（各館の規模に合わせて作成）

	中央・高幡・日野・平山・百草図書館	多摩平図書館
0・1・2歳向け福袋	3冊×10セット＝30冊	3冊×20セット＝60冊
3・4・5歳向け福袋	3冊×10セット＝30冊	3冊×20セット＝60冊

■ 絵本パックの貸出

短い来館時間で、乳幼児の保護者が手軽に絵本を選べるサービスを継続した。乳幼児のための絵本を選ぶのに悩んでいる方(祖父母など)から、「テーマごとの絵本をセットで借りられるので、手軽で便利」という声も多いため、継続して取り組んだ。絵本パックの絵本は、絵本パックを利用しない方も貸出・予約できるように、複本を用意するなど工夫をしている。令和6年度は、新しく7セット購入した。

絵本パックの貸出

館名	セット数	貸出回数	セット数の増減
中央	37	291	0
高幡	15	144	+5
日野	16	231	+6
平山	12	120	-4
百草	8	156	0

事業の課題と改善策

【課題】

- ・ 子どもと本を結ぶ機会である「おはなし会」については、乳児の参加は多いが、幼児の参加が少ない。実施方法・内容・PRの仕方等検討が必要。
- ・ 読み聞かせに向く絵本のリストの刷新。
- ・ 絵本パックや、おたのしみ袋の発展的継続。

【改善策】

- ・ おはなし会の年間予定を入れたチラシを作成、児童奉仕担当だけではなく、図書館窓口立つ職員全員で声掛けをしていく。
- ・ 乳幼児とその保護者向けの図書館利用促進チラシを改変し、健康課での乳幼児健診や図書館窓口で配布する。
- ・ 絵本パックの入替や、増冊。秋におたのしみ袋を作成、全館で実施する。

事業項目 12 小中学生へのサービス・学校支援

(3-1-① 第4次日野市子ども読書活動推進計画の推進 (2)小中学生へのサービス (5)学校支援)

事業の概要

- 小中学生向け資料の充実
- 中学生と作家の交流事業
- 中学生職場体験受け入れ
- 本の森学級文庫の配本・学校搬送便の運航
- 司書教諭連絡会等での情報交換等、学校図書館との連携

事業の成果

■ 小中学生向け資料の充実

○ 小学生向けおはなし会の実施

	開催した回数	参加者数
中央	毎月第2水曜日開催 : 10 回 (注1)	小学生 20 名
多摩平	毎月第4水曜日開催 : 7 回 (注1)	小学生 27 名
百草	毎月第3水曜日開催 : 12 回	小学生 42 名

(注1) 年間12回に満たないのは、参加者0のときがあったため

○ 「夏休みジュニアスタッフ」の実施

「夏休みジュニアスタッフ」については、市政図書室を除く全館で実施した。計20名の参加があった。開館前のブックポストに返却された本の処理などの作業、また、参加した児童からおすすめしたい本を紹介してもらうことも行った。紹介してもらった本は各館で展示し、図書館ホームページにリストを掲載した。

○ 小中学校との連携

- ・ 小学3年生を対象に行っている学校訪問(図書館ガイダンス)を、希望する16校に実施した。
- ・ 授業での見学やボランティア活動等での図書館への来館は、小中学校あわせて13校だった。(小学校11、中学校2校)
- ・ 初めての取り組みとして、都立七生特別支援学校からの依頼に応じて、小学部の全学年に読み聞かせを行った。 ※「3 高幡図書館の取り組み」を参照

○ 読書調査結果まとめ

6月に、市立小学校に在籍する第4～6学年の児童全員と、市立中学校に在籍する第1～3学年の生徒全員に、LoGoフォームにて読書調査を実施した。読書冊数、電子書籍の利用、おすすめの本、好きな作家について質問し、不読率の推移や全国平均との比較、児童・生徒の読書環境等について分析、検証を行った。検証結果をまとめ、希望する学校へのフィードバック、また今後の中学生と作家の交流事業や選書などに反映する資料とした。

○ 本の世界の楽しさを伝える企画「たかはたブッククラブ」の実施

連続した3か月を1期として、全3期を実施(1期について3日実施、計9回を開催)。定員制(6名)で、開催した。(延べ31名参加)

【実施内容例 (第1期 4月～6月)】

5月 あなたも図書館員

図書館を探検して本を探そう

6月 新聞を切り抜いた「言葉」で川柳を作ろう

7月 おはなしかるた(あらすじを聞いて、絵本・本のカルタをとる)

○ 令和6年度日野市子ども読書推進事業として、6月30日(日)に平山季重ふれあい館で「日野市在住絵本作家・阿部結さんワークショップ」を開催した。スタッフも含めて40名の参加があった。(うち子ども13名)

■ 中学生と作家の交流事業

中学生と作家の交流事業では、講師にショートショート作家の田丸雅智氏を招き、11月4日(月・祝)に多摩平の森ふれあい館で講演会を開催した(参加者40名)。事前に、公募で集まった市内外の中学生7名による企画運営会議を4回行った。講演会は講師による講演のあと、中学生による企画を2つ行った(①講師や作品に関するクイズコーナー、②作品の朗読と、作中に登場する提灯を再現したものを会場で披露)。来場者アンケートでは、「企画した中学生にとっても良い刺激になったと思います」「クイズを通して作品の裏話も聞けて良かった」「朗読も上手で、作られていた提灯も可愛かったです」など、好意的な感想が多く寄せられた。

■ 中学生職場体験の受入れ

中学生職場体験については、希望のあった7校から、52名の生徒を受け入れた。

■ 「本の森学級文庫」の配本

令和6年度は、3、4年生の中学年向けの図書を約200冊購入して、2学期の搬送分から提供した。

【本の森学級文庫配本実績】

小学校17校 各学年へ年3回(学期ごと)配本。

延べ51回 18,152冊 (令和5年度実績 延べ51回 18,125冊)

■ 学校搬送便の運行

小中学校の調べ学習・宿題・読書指導等で図書などの資料が必要な場合、各学校に学校搬送便で送り、貸出している。依頼の多いテーマを中心に学校搬送用に新たに資料を購入し、学校からのリクエストに応じて貸出を行った。

学校搬送実績 () 内は令和5年度実績		学校数	クラス数 (利用 したクラス)	延べ回数	資料冊数
調べ学習用資料搬送	小学校	17 (17)	93 (57)	194 (119)	4,888 (3,495)
	中学校	7 (4)	15 (4)	24 (4)	844 (168)
特別支援学級搬送	小学校	3 (3)	3 (3)	19 (18)	979 (953)
合計		27 (24)	111 (64)	237 (141)	6,711 (4,213)

■ 学校図書館との連携強化

○ 図書のミニ展示会と学校へのリサイクル図書頒布

6月5日(水)の小教研図書館部会で、児童図書関連出版社による図書のミニ展示会を開催した。同時に、学校で利活用してもらうために図書館のリサイクル図書を頒布した。(11校 549冊)

○ 学校図書館司書・司書教諭の研修

5月14日(火)、教育指導課主催の「学校図書館司書・司書教諭研修会」に参加した。研修会では「第4次日野市立図書館基本計画と子ども読書活動推進計画について、学校図書館に関わる計画の内容」についての説明と「本の森学級文庫配本および調べ学習資料貸出」について報告を行った。(日野第六小学校図書室にて)

事業の課題と改善策

【課題】

- ・「小学生向けおはなし会」の参加者確保。
- ・「夏休みジュニアスタッフ」の電話申し込みの見直し(その時間帯に電話ができないとのご意見あり)と内容の充実。
- ・「学童クラブ訪問おはなし会」は、夏休み繁忙期に希望が多く、対応方法の検討が必要である。
- ・小学校3年生を対象に行っている「学校訪問(図書館ガイダンス)」が図書館利用につながっているか
- ・中学生と作家の交流事業については、企画運営に参加する中学生を募るにあたり、学校を通じた選出ができなくなったため、企画運営に参加する生徒の応募が半減している。また、講演会の参加者は一般の方が多く、企画生徒以外の中学生の参加が極めて少ない。近年の読書調査で中学生から人気のある作家はすでに依頼をした方が多数を占めているため、呼び寄せる講師の選定が年々困難になってきている。
- ・たかはたブッククラブを継続して実施する。これまで実施してきた内容を踏まえ、さらに子どもたちが主体的に本と関わることができるようなプログラムを検討する。
- ・「本の森学級文庫」については、入れ替え作業の場所の確保が困難になったこと、また、貸出データなどの統計がなく、学校現場がどの程度必要性を感じているのかが見えにくいため、事業効果を測定することが困難である。

- ・調べ学習に役立った本について学校の意見を集め、資料の充実を図る。

【改善策】

- ・「夏休みおはなし会」を小学生向けに実施。これまでの「工作主体」ではなく、本の紹介やストーリーテリングなどを実施し、通常の「小学生おはなし会」の参加につながるよう十分に準備して実施する。
- ・夏休みジュニアスタッフについては、図書館ホームページからも申し込みができるよう、受付方法を改善する。また、参加した児童・生徒が主体的に関われるような内容(おすすめ本の POP 作成など)も検討する。
- ・「夏休み学童クラブ訪問おはなし会」については、訪問数を限定し抽選とする。
- ・「学校訪問(図書館ガイダンス)」については、図書館の利用の仕方だけでなく、本の世界と児童とを結びつけるために、本の紹介や読み聞かせ、ストーリーテリングなども取り入れたガイダンスに取り組む。
- ・中学生と作家の交流事業は、参加生徒の募集や講師の選定など課題が多い。より中学生に参加してもらいやすく、継続が可能な別な形で中学生向けの事業が可能なのか検討をする。
- ・たかはたブッククラブについては、引き続き、参加する子どもの年齢にあい、主体的に本と関わっていけるようなプログラムを構成し実施する。このことにより、他館での小学生へのサービス内容の参考とする。
- ・「本の森学級文庫」については、教育指導課及び学校と連携し、事業内容の検証を行い、今後の方向性を検討する。
- ・学校搬送事業についての情報共有を図り、学校などからの問い合わせにも適切な回答をするなど業務が効率よくできるようにしていく。担当者以外の職員とも協力して行えるようマニュアルを作成する。
調べ学習に役立った本についてのアンケートは、現在の「貸出リスト評価シート」を改良し、わかりやすく、簡単に答えられるような形式(双方向でやりとりできるような)にして、より現場の声を集められるようにする。また、図書貸出システムを活用した情報共有も検討する。
- ・学校搬送で利用された資料をテーマごとにリスト化し、それを各学校で参考にしてもらえる体制を検討する。

事業項目 13 青少年へのサービス (3-1-① 第4次日野市子ども読書活動推進計画の推進 (3)青少年へのサービス)
事業の概要 第4次子ども読書活動推進計画に基づき、青少年の読書活動を推進する。
事業の成果 ■ 「日野ヤングスタッフ」の活動支援 ○ 発行物の作成・情報発信 図書館ホームページ「ヤングスタッフ活動日誌！」を更新した。(12回) ○ ヤングスタッフ企画イベント「夜の図書館に来てみませんか」の開催 (8月18日(日)、閉館後の高幡図書館) 地域の小学生を対象に、閉館後の図書館内で懐中電灯を照らしながらお題の本を探すイベントを開催した。あわせて、ヤングスタッフによる高幡図書館2階の案内ツアーをおこなった。(参加人数:7組12名) 一般参加者・ヤングスタッフ双方から「普段は入れない夜の図書館の雰囲気を知れてよかった」という感想があった。 ○ 「日野ヤングスタッフ」と他団体との交流 11月9日(土)～10日(日)に開催された実践女子大学学園祭「常磐祭」に参加し、ヤングスタッフを選んだ本の展示(テーマ「青春～一瞬の輝き」、14冊展示)と、日野ヤングスタッフの活動紹介ポスターの掲示、ヤングスタッフが作成したブックリストの配布をした。 ○ 選書ツアーの開催 (11月17日(日)、オリオン書房ノルテ店) ヤングスタッフが、同世代におすすめ・図書館に置いてほしい本を、書店に行って選書するイベントを開催した。(参加人数:6名、購入冊数:96冊) 選書ツアーで選んだ本を高幡図書館で展示した(1月7日(火)～3月28日(金))。展示期間終了後は、高幡図書館ヤングスタッフコーナーに配架している。展示した本は常に多くが貸出され、ヤングスタッフからも「いろいろな本を選んで楽しかった」「友達に選書ツアーで選んだ本をおすすめしたい」という感想があった。 ■ 各館での取り組み ○ 高幡図書館ヤングスタッフコーナーの掲示板、利用者からのお悩みにヤングスタッフがおすすめの本を記入する「お悩みノート」を継続した。本の紹介文やお悩み相談のコメントが集まった。ヤングスタッフからの回答も掲示した。(投稿件数 掲示板:1件、お悩みノート:3件) ○ 「お悩みノート」に、ヤングスタッフからのお悩みとして高幡図書館ヤングスタッフコーナーのリニューアル案を募集したところ、「入ったところから正面にコーナーを作る」との投稿があった。この投稿を参考に、高幡図書館貸出カウンターでミニ展示をおこなった(一度に2冊ずつ、計20冊展示)。展示した本は貸出利用された。 ○ 多摩平図書館・高幡図書館での「旬の推し本」展示(5冊) 紹介文を添えて展示を行った。貸出利用があった。

○ 日野ヤングスタッフによる展示

・「色の本」(6月1日(土)～12月5日(金)、展示冊数:21冊)

・「実践女子大学常磐祭で展示した本」(12月13日(金)～2月28日(金)、展示冊数:14冊)

- おみくじ形式でおすすめ本の紹介をおこなった。高幡図書館ヤングスタッフコーナーにおみくじと、くじの番号に対応する本を設置し、自由におみくじをひいて本を手にとってもらえるようにした。(1月7日(火)～2月28日(金))

■ その他の取り組み

○ 新たなヤングスタッフメンバーの募集

ヤングスタッフの対象を「日野市在住・在学・在勤の高校生・大学生・および同世代の方」だけでなく、「中学生」も加えるように拡大した。募集ポスターを更新し、また、高幡図書館と多摩平図書館でヤングスタッフ募集デザインの日限票を配布したところ、10名の新規メンバーが加入し、合わせて12名となった。

新規メンバーの内訳は、中学生が7名、高校生が1名、大学生以上が2名

(ポスターを見て8名加入、ひのっ子きょういくを見て1名加入、日限票を見て1名加入)

- 定例のミーティングは、前年度に引き続き、Zoomを使ったWeb会議と対面を併用しておこなった。実施回数は10回であった。

事業の課題と改善策

【課題】

- ・ 会議の参加人数が少ないこと。
- ・ ヤングスタッフの世代交代が行われ、活発に議論していた大学生世代が卒業し、控えめな中学生世代のスタッフが参加者の大半を占めるようになったため、会議での議論が減っていること。

【改善策】

- ・ ヤングスタッフの新規加入を募るために、日限票やポスターの掲示によりヤングスタッフ事業の広報を行う。
- ・ なかなか自分からの発言がしにくい中学生スタッフが話しやすい雰囲気を作るべく、定例の会議内でヤングスタッフ同士がおすすめの本を紹介しあう時間をとる。

事業項目	14 図書館の利用に障害がある方の読書環境の整備 (3-2-②)																																
事業の概要	通常の印刷文字での情報入手が困難な方や、図書館への来館が困難な方などに対し、情報提供や情報入手サポートを行う。これらのサービスについて広く周知し、必要とする人に提供する。																																
主な実施内容	■ 音訳・点訳資料の製作・貸出 ■ 音訳・点訳者の養成 ■ 対面朗読 ■ 資料宅配サービス ■ 利用者への読書機器の使い方指導 ■ その他利用者への点字指導、スマートフォンの使い方指導																																
事業の成果	■ 音訳・点訳資料の製作・貸出 ○音訳・点訳資料は、利用者へ図書の情報を積極的に提供したうえで、リクエストがあったものを製作した。また、国立国会図書館(みなサーチ)に登録した録音図書は、全国から借用依頼を受け貸し出ししている。 ○ 令和6年度の資料の作成件数・貸出件数 ※()内は令和5年度の数値 <table><tr><td>作成件数</td><td>点字図書 48 タイトル</td><td>録音図書 108 タイトル</td></tr><tr><td></td><td>(点字図書 72タイトル</td><td>録音図書 87タイトル)</td></tr><tr><td>貸出件数</td><td>点字図書 299 タイトル</td><td>録音図書 4,225 タイトル</td></tr><tr><td></td><td>(点字図書 324タイトル</td><td>録音図書 4,504 タイトル)</td></tr><tr><td>相互貸借貸出</td><td>点字図書 211 タイトル</td><td>録音図書 9,624 タイトル</td></tr><tr><td></td><td>(点字図書 681タイトル</td><td>録音図書 8,329 タイトル)</td></tr><tr><td>相互貸借借用</td><td>点字図書 130 タイトル</td><td>録音図書 2,097 タイトル</td></tr><tr><td></td><td>(点字図書 303タイトル</td><td>録音図書 1,000 タイトル)</td></tr></table> ○ 個人貸出に加え、特別支援学校、放課後デイサービス、院内学級への貸出も行った。 <table><tr><td>特別支援学校</td><td>1回 30タイトル</td></tr><tr><td>放課後デイサービス</td><td>1回 10タイトル 加えて墨字図書 30冊</td></tr><tr><td>院内学級</td><td>2回 5タイトル</td></tr></table> ■ 音訳・点訳者の養成 ○ 音訳者の音訳活動の質を高めるため、9月30日(月)、10月7日(月)、21日(月)の3回、音訳者講習会を実施した。参加者38名 (令和5年度:23名) ○ 音訳者が減少していることへの対応として、経験のある音訳者の募集を行い、8名の経験者の方が新規登録された。 ○ 音訳者に対する個別講習を実施した。また、団体「八王子六つ星会」にも点訳の依頼をした。 音訳者登録数 41名 (30名) 点訳者登録数 30名 (30名) ※()内は令和5年度の数値			作成件数	点字図書 48 タイトル	録音図書 108 タイトル		(点字図書 72タイトル	録音図書 87タイトル)	貸出件数	点字図書 299 タイトル	録音図書 4,225 タイトル		(点字図書 324タイトル	録音図書 4,504 タイトル)	相互貸借貸出	点字図書 211 タイトル	録音図書 9,624 タイトル		(点字図書 681タイトル	録音図書 8,329 タイトル)	相互貸借借用	点字図書 130 タイトル	録音図書 2,097 タイトル		(点字図書 303タイトル	録音図書 1,000 タイトル)	特別支援学校	1回 30タイトル	放課後デイサービス	1回 10タイトル 加えて墨字図書 30冊	院内学級	2回 5タイトル
作成件数	点字図書 48 タイトル	録音図書 108 タイトル																															
	(点字図書 72タイトル	録音図書 87タイトル)																															
貸出件数	点字図書 299 タイトル	録音図書 4,225 タイトル																															
	(点字図書 324タイトル	録音図書 4,504 タイトル)																															
相互貸借貸出	点字図書 211 タイトル	録音図書 9,624 タイトル																															
	(点字図書 681タイトル	録音図書 8,329 タイトル)																															
相互貸借借用	点字図書 130 タイトル	録音図書 2,097 タイトル																															
	(点字図書 303タイトル	録音図書 1,000 タイトル)																															
特別支援学校	1回 30タイトル																																
放課後デイサービス	1回 10タイトル 加えて墨字図書 30冊																																
院内学級	2回 5タイトル																																

■ 対面朗読

○ 対面朗読は昨年度より利用件数、延べ時間数ともに増加している。

○ 令和6年度の対面朗読の実施状況

202件 延べ378時間 延べ音訳者数:289名 利用者:9名
(令和5年度: 163件 延べ291時間 延べ音訳者数:242名 利用者:10名)

■ 資料宅配サービス

○ 病気や障害など、何らかの事情で図書館まで出向くことが困難な方に本を届ける資料宅配サービスを、職員と宅配ボランティアによって実施した。職員が直接利用者と対面する機会にもなった。

○ 病気などで外出困難な利用者の場合、宅配サービスを受け新しい情報を得ることで回復の手助けとなり、職員と対面することで気分が張りが出たといった声もあった。

○ 令和6年度の資料宅配サービスの利用実績

373回 (そのうちボランティア22回) 貸出図書冊数 1,244 冊 利用者33名
(令和5年度:344回(そのうちボランティア49回) 貸出図書冊数 1,398 冊 利用者30名)

■ 読書機器の使い方指導など

○ 視覚障害者に対してスマートフォンやパソコンの使い方指導を行い、7名の方がそれらの機器を用いて情報を得ることができるようになった。(時間数 132 時間)

○ 録音図書(DAISY)の再生機を10台追加し、機材の使用方法をお伝えし、希望者に貸出した。

■ その他

○ 市内小学校3校からの依頼により、4年生10クラスを対象に点字授業を実施した。(令和5年度:5校12クラス) そのうち2校については、日野市ボランティアセンターの「福祉教育ハートフルプロジェクト」に協力して実施した。授業内容は点字図書や生活用品の紹介、視覚障害者の生活の紹介等で、子どもたちは点字の書き方を知り実際に作成することで、点字や視覚障害についての理解を深めることができた。

○ 日野市ボランティアセンター主催の「夏の体験ボランティア」に引き続き協力し、親子を対象に点訳や障害者サービス業務の体験学習を行った。

○ 障害福祉課と連携して、「障害者週間イベント」期間に中央図書館でも障害に関する図書の展示を行った。(12月1日(日)~28日(土))

事業の課題と改善策

【課題】

- ・ 次世代に障害者サービスを引き継いでいくための新たな体制づくり。
- ・ 音訳者・点訳者の減少・高齢化への対応。
- ・ 対面朗読室・音訳作業室の環境改善と適切なセキュリティ管理。
- ・ 図書館の障害者サービスを必要とする市民への周知の継続。

【改善策】

- ・ 図書館全体や市役所の関連部署等との連携、他市との情報共有を積極的に行っていく。
- ・ 音訳者、点訳者とも経験者を募集し、養成していく。また、新規育成のための講習会を実施する。
- ・ 個人情報の安全な管理方法を構築し、セキュリティ対策を万全にする。
- ・ 聴覚障害者の方の利用を促すため、館内入口やカウンターに筆談ボード有りなどの案内表示をする。
- ・ 日野市のLINE活用、福祉、医療施設への広報を通じて図書館の障害者サービスの周知を行う。
- ・ 図書館での障害者サービスを市民へ周知するためのイベントや関連する本の展示などを実施する。

事業項目	15 図書館の魅力や活動を市民に広めていきます (5-1-②、5-2-①)
事業の概要	5-1-② 双方向によるコミュニケーションの充実 ■ 図書館や読書について、市民と図書館での双方向のコミュニケーションができる仕組みづくりを検討 例えば、掲示板の設置やSNSなどの活用 ■ 図書館をより身近に感じてもらえるよう、市民目線でのコミュニケーションに努める 例えば、掲示物や発行物において、わかりやすい表現の利用や、デザインの工夫など 5-2-① 図書館の利活用や来館につながるようなサービスの普及・啓発 ■ 図書館の利用方法や活用方法についての案内・周知に努める ■ 転入者や市内の高校などへ利用案内を配布し、利用者のすそ野拡大を図る ■ 最新の情報に更新した利用案内の発行
事業の成果	■ 市民のだれもが参加しやすい企画の実施 年未年始から、ひの電子図書館の企画でおみくじを実施した。子ども向け、一般向け、落語の3種類におみくじの箱を分け、気軽に引けて楽しく、電子書籍との偶然の出あいをつくることで電子図書館の利用も増えるように工夫した。企画の反響としては、東京新聞の2月1日(土)朝刊「発言 読者とともに」に市民の投稿が掲載されたほか、各館のおみくじ実施場所にて利用者が喜ぶ様子が見られたり、窓口でおみくじ企画について尋ねられたりといったものがあつた。 ■ 図書館サービスのPR ・ ひの電子図書館サービスについて、多様な手段により広報した。 サービスや新着電子書籍について、ひの電子図書館や図書館ホームページのお知らせのほか、図書館報「ひろば」や広報ひの、日野市公式LINE、ひのっ子きょういく、プレスリリース、Home & School(保護者向けアプリ)、番号表示モニター(市役所1階市民窓口前)などにより月に一回以上広報した。 またサービス開始前(6月はじめごろ)に利用者登録・更新を促すキャンペーンを実施した。令和6年度の6月1日～3月31日における新規登録者数(登録区分:在住・在勤・在学・障害者サービス)は、令和5年度の2,997件に比べて383件増の3,380件となった。 ・ 市内小・中学校に通う児童・生徒、および教員に対して、図書館利用者登録がなくてもひの電子図書館が利用できるID(学校用ID)を配布した。学校用IDは、市内の小・中学校に通う全児童・生徒に対し紙の利用案内を配布することにより周知した(約15,000部配布)。 ・ 令和6年度の図書館ホームページのアクセス数は、861,600件だった(ただし、これはトップページのアクセス数で、各ページの数はいずれも計測していない)。令和5年度の883,667件と比べて約2.5%減少している。 ■ 利用案内の更新 ・ ひの電子図書館の案内を追加したほか、各館の案内図について道路や図書館近辺の建物の変化に対応し、かつ、デザインを統一した地図に更新した。また、フォントは基本的にユニバーサルデザイン U D フォント(BIZ

UDPゴシック)を利用することで、より多くの人が読みやすいように配慮した。

- ・引き続き、日野市への転入手続きを行う際に、市民窓口課の窓口での配布を依頼した。

事業の課題と改善策

【課題】

- 図書館ホームページをよく見る人や来館利用者には情報が届きやすく、図書館の企画も参加されやすいが、普段図書館と接点がない市民に発信できる手段が少ない(日野市公式LINE、プレスリリース、広報ひの等)。こうした多くの市民に行き届くような手段は全て市長公室の管轄であり、情報の鮮度や発信のタイミングの自由度が、図書館管轄の手段に比べて低い
- 図書館ホームページ、図書館報「ひろば」など、印刷後に手直しが発生したことが何件もあり、発信前のチェック体制が課題である。
- 令和7年度における新図書館システムへの更新に伴い、利用案内や図書館ホームページに修正が必要となる

【改善策】

- 図書館が運用するSNSの開設について、具体的に検討・準備を進める
- 広報物について、校正体制を充実させるほか、アクセシビリティに対応したガイドラインを周知するなど、広報物作成における職員意識を高める
- 新図書館システムの本稼働前に、修正箇所をリストアップし、図書館ホームページ管理用システムの研修期間内に修正も並行して行う

事業項目	16 施設の老朽化対策・防災安全対策の推進（6-1-②）
事業の概要	■ 各地域館の施設・設備の老朽化に対応するために、計画的に修繕を実施する。またその予算の確保に努める ■ 利用者の安全を確保し、市民の財産である蔵書を将来に残していくため、防災対策を進める
事業の成果	■ 各館の施設・設備の老朽化に対応するため、令和6年度は以下の修繕を行った。 【中央図書館】 電動スタックランナー(書架)修繕／消防用設備修繕／屋上防水修繕 【高幡図書館】 屋外排水桝修繕／1階トイレ大便器排水詰まり修繕／漏電改修修繕／消防用設備修繕／ブラインド修繕／ブラインド修繕(その2)／2階照明修繕 【日野図書館】 誘導標識設置修繕／駐車場側入口引戸修繕 【平山図書館】 館壁面緑化灌水設備修繕／防火シャッター修繕／空調機修繕 【百草図書館】 談話室照明修繕 ■ 産業振興課の小規模修繕の制度を活用して、以下の修繕も行った。 【高幡図書館】 1階天井灯修繕 ※ 小規模修繕は、産業振興課が日野市商工会に委託して公共施設の修繕を行うもの。 おおむね50万円以下の修繕を委託して行う。
事業の課題と改善策	【課題】 ・ 施設への対応については、原則として、社会教育施設(一部)個別施設計画に基づき実施していく。なお、施設の老朽化等により緊急に対応しなければならない場合は、補正予算等により対応していく。 ・ 過年度において、修繕予算等の不足から、十分な修繕等の実施が出来ていない。施設の老朽化も進行しているため、年々緊急修繕の案件が増加してきている。 ・ ロードマップに示された改修計画等について、予算確保するとともに、実施していく。 【改善策】 ・ 施設の長寿命化等への対応については、社会教育施設(一部)個別施設計画に基づき、着実に実施する。また、施設の老朽化等による雨漏りや電気関係などの緊急修繕については、利用者や職員の安全・安心のために必要なものを優先して対応する。

事業項目 17 職員研修の充実と職員の育成（6-3-①）
事業の概要
■ 研修の目標や対象などを明確にした、研修実施計画を作成する ■ 研修の内容は、図書館サービスに関する専門的研修や接遇など、図書館に求められる様々なニーズに合わせた適切なテーマとする ■ 研修計画に基づいて研修を実施することで、高度で専門的なスキルを有した職員の育成に努める ■ 館内研修に限らず外部研修も活用し、研修の充実や職員の育成に努める
事業の成果
■ 研修実施計画の作成は今年度も着手できなかった ■ 令和6年度館内研修は、職員にアンケートを行い、希望の多かった下記の内容で実施した。 - テーマ 「日野市立図書館の今後の在り方について」 - 講師 教育部参事 - 日時 1月20日(月) 9:30～11:30 2月3日(月) 9:30～11:30 - 参加人数 24名(両日出席者含む) - 内容 ① 人口と帯出者、日野市立図書館の職員の年齢構成、近隣市の状況、情報の入手手段など、また、日野市立図書館の置かれた状況、これからの図書館の在り方についての講義 ② 「スキャンパーシート」(※)を使った、課題の解決に向けたグループワーク 「図書館の現状と今後について考えさせられる内容だった」「スキャンパーシートを用いたグループワークもよい刺激になった」「いろいろな角度から図書館の見え方について知ることができて良かった」といった感想が寄せられた。今後の日野市立図書館の在り方を考えるきっかけになった。 令和6年度は日程を2日間にし、多くの職員が参加できるようにした。 ※ スキャンパー(SCAMPER)とは、既存のアイデアに対して 7 つの質問を行うことでアイデアを発展させたり、量産させたりすること。ゼロからアイデアを生み出すためのものではなく、すでにあるアイデアを深堀り・発展させるためのフレームワークのこと。 ■ 以下の外部研修を受講し、図書館業務に関する知識や能力を向上させることができた。 ・区市町村立図書館職員等レファレンス研修(テーマ別研修)「人物情報」 (東京都立中央図書館 9月5日(木) 2名) ・区市町村立図書館職員等レファレンス研修(テーマ別研修)「法律情報」 (東京都立中央図書館 11月7日(木) 2名) ・区市町村立図書館職員等レファレンス研修(テーマ別研修)「新聞・雑誌情報」 (東京都立多摩図書館 12月5日(木) 1名) ・子どもの読書に関する講座 児童図書館専門研修Ⅱ (東京都立多摩図書館 1月22日(水) 1名)

- ・ 関東・甲信越静地区図書館地区別研修

(神奈川近代文学館 12月10日(火)、11日(水) 各1名)

(神奈川県立図書館 12月12日(木) 2名、13日(金) 1名)

■ 以下の図書館見学会に参加し、他の図書館の取り組みなどを見聞し、業務に生かすことができた。

- ・ 多摩市立中央図書館見学会 6月21日(金) 10名(協議会委員を含む)

- ・ 東京都図書館研究交流会 (新館見学会)

瑞穂町図書館 11月15日(金) 1名

荒川区立尾久図書館 12月12日(木) 1名

- ・ 東京都図書館協会図書館見学会

青山学院大学図書館 3月7日(金) 1名

事業の課題と改善策

【課題】

- ・ 館内研修は同じ内容の研修を2日間に分けて多くの職員が参加しやすいようにしたが、講師の調整、振替休による他業務への影響、などにより今後続けていくことができるか。また開催時間を午前中にしたが、市政図書室が午前中繁忙時間であるため出席できない。
- ・ 館内研修に多くの職員が参加できるような仕組み作り。2日間同じ研修を行うのか、午前午後どちらの時間にするのか。

【改善策】

- ・ 館内研修は、他の業務を考えると1日だけにして、月曜日の午後に開催する。研修実施計画を作成する。特に、新規採用職員対象のものと異動してきた職員対象の研修計画を早期に作成する。
- ・ 館内研修については、今後の日野市立図書館職員にとってどのような研修が必要か、長年在籍している職員の意見をもとに内容を検討する。

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
蔵書数 (図書)	合計	843,715	846,872	844,476	835,120	803,496	810,522
	一般書	659,116	661,667	656,212	648,217	615,886	622,775
	児童書	184,599	185,205	188,264	186,903	187,610	187,747
受入数 (図書)	合計	34,694	33,380	30,498	29,390	29,175	28,502
	一般書	25,063	24,109	22,032	20,865	21,527	20,525
	児童書	9,631	9,271	8,466	8,525	7,648	7,977
除籍数 (図書)	合計	26,612	30,223	32,894	38,746	60,799	21,476
	一般書	20,343	21,558	27,487	28,860	53,858	13,636
	児童書	6,269	8,665	5,407	9,886	6,941	7,840
視聴覚資料	保有数	4,998	5,102	5,074	5,262	5,304	5,347
購入雑誌	タイトル数	507	507	504	494	497	505
利用登録者	合計	35,166	28,341	30,146	30,630	31,230	30,817
	成人	30,176	24,901	26,113	26,767	27,444	27,215
	児童(15歳以下)	4,990	3,440	4,033	3,863	3,786	3,602
利用登録率	合計	18.83%	15.15%	16.12%	16.36%	16.65%	16.32%
	成人	18.64%	15.36%	16.06%	16.44%	16.86%	16.66%
	児童(15歳以下)	19.83%	13.82%	16.30%	15.88%	15.49%	14.89%
開館日数		313	265	298	312	313	316
個人貸出数	合計	1,574,761	1,342,530	1,477,776	1,465,388	1,430,749	1,373,192
	一日あたり貸出数	5,031	5,066	4,959	4,697	4,571	4,346
	一般書(雑誌含む)	1,053,461	895,405	952,744	955,564	930,898	907,296
	児童書(雑誌含む)	507,295	436,372	515,078	500,625	490,610	456,999
	視聴覚資料	14,005	10,753	9,954	9,199	9,241	8,897
移動図書館による団体貸出 (雑誌・C D含む)	団体数	53	54(*1)	53(*2)	53(*2)	54(*1)	55(*1)
	貸出冊数	23,200	21,246	16,099	26,178	27,554	28,069
予約受付 (雑誌・C D含む)	受付件数	503,493	493,964	543,902	534,677	527,782	484,986
	所蔵資料提供	493,968	486,207	535,455	527,504	521,016	477,743
	借用資料提供	9,525	7,757	8,447	7,173	6,766	7,243
レファレンス	件数	3,349	2,755	2,403	不明	1,853	1,329

*1 定期巡回の団体数は53 *2 定期巡回の団体数は52 表中「不明」となっている項目は、ランサムウェア感染の影響のため

過去5年間の統計数値

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
延べ利用者数	合計	440,254	359,640	413,189	419,919	417,749	410,316
	一日あたり利用者数	1,402	1,357	1,387	1,346	1,335	1,298
	中央	68,421	57,750	69,259	68,773	67,626	67,850
	高幡	87,029	72,042	79,526	79,694	79,605	76,033
	日野	60,093	47,935	59,078	59,691	58,740	58,104
	多摩平	135,134	107,372	122,052	126,059	126,377	126,095
	平山	45,681	36,732	41,605	44,017	43,914	41,974
	市政	4,815	4,205	4,820	4,933	5,029	4,931
	百草	34,970	29,124	32,204	32,581	32,574	31,662
	移動	4,111	4,480	4,645	4,171	3,884	3,667
館別 個人貸出数 (一般図書)	合計	1,053,461	895,405	952,744	955,564	930,898	907,296
	中央	181,691	158,386	169,517	164,649	156,302	148,678
	高幡	201,619	175,007	185,510	183,468	180,794	171,771
	日野	149,313	123,802	133,541	134,371	127,648	126,964
	多摩平	314,285	258,659	272,938	278,014	275,804	276,872
	平山	104,953	87,910	93,858	98,233	95,877	90,612
	市政	10,811	10,037	11,034	11,024	10,571	10,265
	百草	76,516	67,562	71,347	71,189	70,466	68,497
	移動	14,273	14,042	14,999	14,616	13,436	13,637
	合計	507,295	436,372	515,078	500,625	490,610	456,999
館別 個人貸出数 (児童図書)	中央	93,605	80,332	97,132	93,293	90,789	84,090
	高幡	78,068	68,605	78,435	74,694	75,963	68,686
	日野	90,300	72,457	85,120	82,580	80,865	71,647
	多摩平	159,724	142,779	170,284	166,883	159,629	153,740
	平山	38,247	33,167	38,702	39,280	42,059	38,422
	市政	1,856	1,770	2,212	1,895	2,800	2,961
	百草	35,603	26,670	33,259	32,371	30,668	31,405
	移動	9,892	10,592	9,934	9,629	7,837	6,048
	合計						
	合計						
電子図書館サービス利用状況 ※令和6年7月開始	利用者数						9,129
	コンテンツ数						3,252
	閲覧数						97,616
	貸出数						11,484

奉仕実績

(1) 蔵書状況 (蔵書数)

① 図書

区 分	蔵書数 (冊)	年間受入 (冊)	年間除籍 (冊)
一 般 図 書	622,775	20,525	13,636
児 童 図 書	187,747	7,977	7,840
計	810,522	28,502	21,476

② CD・ビデオ等

資料名	保有数
C D	4,785
カセットテープ	15
D V D	340
ビデオソフト	194
レコード等	13
計	5,347

③ 雑誌・新聞

	購読新聞	雑 誌		
		購入	寄贈	合計
中 央 図 書 館	18	220	35	255
高 幡 図 書 館	9	125	6	131
日 野 図 書 館	7	93	3	96
多 摩 平 図 書 館	10	171	5	176
平 山 図 書 館	7	86	5	91
市 政 図 書 室	14	63	42	105
百 草 図 書 館	9	106	3	109
移 動 図 書 館	0	43	0	43

*購読新聞は、購入、寄贈の合算

*新聞の寄贈分は、今回より図書館ホームページの所蔵新聞に記載されているもののみをカウントする

(2) 利用者数・貸出点数

① 登録者数・率

成人 (人)	児童 (人)	登録者総数 (人)	登録率 (%)
27,215	3,602	30,817	16.32

※ 登録者数：年度内に貸出した人数

※ 登録率：登録者数を令和7年4月1日の人口188,785人で除して算出

② 延べ利用者数、開館日数

館 名	延べ利用者（人）	開館日数（日）
中 央 図 書 館	67,850	316
高 幡 図 書 館	76,033	316
日 野 図 書 館	58,104	316
多 摩 平 図 書 館	126,095	316
平 山 図 書 館	41,974	316
市 政 図 書 室	4,931	293
百 草 図 書 館	31,662	316
移 動 図 書 館	3,667	—
計	410,316	

③ 個人貸出点数

区 分	一般図書	児童図書	CD・ビデオ	計
中央図書館	148,678	84,090	600	233,368
高幡図書館	171,771	68,686	489	240,946
日野図書館	126,964	71,647	499	199,110
多摩平図書館	276,872	153,740	4,246	434,858
平山図書館	90,612	38,422	866	129,900
市政図書室	10,265	2,961	59	13,285
百草図書館	68,497	31,405	2,011	101,913
移動図書館	13,637	6,048	127	19,812
計	907,296	456,999	8,897	1,373,192

④ 電子図書館サービス利用状況

利用者数（人）	コンテンツ数（点）	閲覧数（回）	貸出数（回）
9,129	3,252	97,616	11,484

※ 電子図書館サービス開始のR6.7月～R7.3月までの実績

⑤ 移動図書館・駐車場別貸出点数

駐 車 場 名	貸出 点数	駐 車 場 名	貸出 点数	駐 車 場 名	貸出 点数
シティハイツ日野旭が丘	2,696	新井わかたけ公園	728	貉谷戸公園	432
西平山第一公園	675	さいかちぜき公園	1,181	万願寺中央公園	622
緑ヶ丘公園	398	大坂西公園	625	ちょうまんびら公園	824
市営向川原団地	882	新坂下公園	198	七ツ塚公園	915
百草団地アポロ広場	577	都営日野栄町二丁目アパート	63	旭が丘地区センター	2,856
水車公園	821	松風公園	961	※イベント等による個人貸出 249	
ほほえみ公園	610	南平丘陵公園	434		
石田環境プラザ	1,938	万願寺渡西公園	1,127	貸出総冊数	19,812
駐車場数 21カ所	延べ巡回回数 475回		駐車場平均貸出冊数 931.6冊		
利用者数（駐車場）3,714人	駐車場平均巡回回数 22.6回		一駐車場一巡回当たり		
貸出冊数 19,563冊	平均利用者数 7.8人		平均貸出冊数 41.2冊		

⑥ 団体貸出点数

区 分	一般図書	児童図書	CD・ビデオ	計
中 央 図 書 館	331	1,764	1	2,096
高 幡 図 書 館	206	2,026	0	2,232
日 野 図 書 館	69	950	1	1,020
多 摩 平 図 書 館	527	4,263	6	4,796
平 山 図 書 館	6	271	0	277
市 政 図 書 室	0	14	4	18
百 草 図 書 館	96	1,230	4	1,330
移 動 図 書 館	1,988	14,311	1	16,300
計	3,223	24,829	17	28,069

※ 移動図書館は延べ117回巡回（定期利用53団体、その他団体が利用）

⑦ 図書館連携事業

日野市民の他市図書館利用	市名	登録者数	貸出冊数
	八王子市	112	7,386
	府中市	89	4,262
	調布市	28	1,775
	町田市	9	179
	多摩市	441	34,979
	稲城市	14	2,875
	立川市	281	9,382
	国立市	17	190
	計	991	61,028
他市市民の日野市立図書館利用	市名	登録者数	貸出冊数
	八王子市	433	46,070
	府中市	27	1,088
	調布市	2	38
	町田市	13	1,144
	多摩市	40	3,703
	稲城市	0	309
	立川市	21	912
	国立市	19	963
	計	555	54,227

(3) リクエストサービス(処理件数)

	図書			雑誌			視聴覚	計
	所蔵	借用	小計	所蔵	借用	小計	所蔵	
中央図書館	11,316	760	12,076	1,209	70	1,279	188	13,543
高幡図書館	14,478	1,809	16,287	376	147	523	60	16,870
日野図書館	7,340	883	8,223	725	113	838	35	9,096
多摩平図書館	13,986	1,936	15,922	600	98	698	80	16,700
平山図書館	6,147	517	6,664	611	81	692	71	7,427
市政図書室	461	70	531	102	17	119	2	652
百草図書館	4,600	695	5,295	165	7	172	36	5,503
移動図書館	1,110	40	1,150	52	0	52	6	1,208
OPAC全館	15,881		15,881	1,487		1,487	294	17,662
WEB(注1)	396,325		396,325	0		0	0	396,325
合計	471,644	6,710	478,354	5,327	533	5,860	772	484,986
上記受付数中、 電子申請(注2) による受付数			2,970					2,970

注1) 図書館のホームページを使ったリクエスト

注2) 東京都及び市区町村が共同で組織する東京電子自治体共同サービスを使った
電子申請によるリクエスト

(4) 参考調査

① レファレンスサービス(文献調査)

区分	日野市 関係	多摩・東京 関係	地方行政 関係	一般 主題	計
中央図書館	190	76	0	395	661
高幡図書館	32	17	0	173	222
日野図書館	11	1	0	19	31
多摩平図書館	17	2	0	193	212
平山図書館	35	4	0	50	89
市政図書室	503	55	58	126	742
百草図書館	14	6	0	94	114
計	802	161	58	1,050	2,071

※ 地方行政関係は、市政図書室のみでカウント

他の館では一般主題と一緒にカウントしている。

② コピーサービス

館 名	カラー枚数 (枚)	白黒枚数(枚)	調定済金額 (円)
中 央 図 書 館	1,007	12,556	165,840
高 幡 図 書 館	1,179	18,442	231,580
日 野 図 書 館	571	6,738	90,220
多 摩 平 図 書 館	848	8,771	121,630
平 山 図 書 館	881	16,350	198,740
市 政 図 書 室	165	6,867	75,270
百 草 図 書 館	182	7,374	81,020
計	4,833	77,098	964,300

(5) 児童・青少年サービス

① おはなし会

(定例おはなし会)

会 場	開催日	回数	参 加 人 数				
			0才 ～	3才 ～	小学 生	小計	大人
中 央 図 書 館	毎月第4木曜日	12	55			55	53
	毎月第2水曜日	12		27	20	47	20
高 幡 図 書 館	毎月第1水曜日	12	69	18	4	91	88
日 野 図 書 館	毎月第3水曜日	12		18		18	15
多摩平図書館	毎月第2木曜日	12	140			140	123
	毎月第4水曜日	12		48	27	75	32
平 山 図 書 館	毎月第3木曜日	12	10			10	10
百 草 図 書 館	毎月第3水曜日	12	56	45	42	143	82

※ おはなし会の開始時間

0～2歳児 午前10時30分～（中央、多摩平、平山）、午後3時～（高幡、百草）

3歳～ 午後3時30分～（中央、高幡、日野、多摩平、百草）

小学生以上 午後4時～（中央、高幡、多摩平、百草） たかはたブッククラブ含む

(出張おはなし会等)

訪問先	合計回数
子育て広場平山「ぽっかぽか」おはなし会（年12回） 子育てカフェ「モグモグ」 地域の親子と子育てサークルの交流会 ほっとも高幡 学童クラブ15か所 子ども家庭支援センター多摩平、万願寺「子育てひろば」ミニ講座 たまだいら児童館「ふれっしゅ」すくすくクラブミニ講座	26 回

② 「たかはたブッククラブ」

小学生対象、予約定員制。職員による本の紹介や図書館探検など子どもと本とを結びつける事業

開催月日	会場	参加者数（人）
5～3月（8月、12月を除く 第1水曜日）	高幡図書館	全9回 31名の小学生が参加

③ 「子ども読書の日」関連事業（おはなしピクニック）

行 事 内 容	備考
市内在住絵本作家阿部結さんによるおはなしづくりワークショップ「自分の中にある〈おはなしのたね〉を見つけよう！」	R6. 6. 30（日）平山季重ふれあい館3階大ホール 親子40名参加

④ 読み聞かせ入門講座

行 事 内 容	備考
集団に対する読み聞かせの仕方、本の選び方、参考図書の紹介、実習	R6. 5. 30（木）、多摩平の森ふれあい館集会室6、 R6. 6. 21（金）高幡図書館おはなし会室 計23名参加

⑤ 学校訪問

毎年、図書館職員が市内小学校の3年生のクラスを訪問し、市立図書館の利用案内・本の紹介・絵本のよみきかせ・昔話の語り等を行っている。（16校）

月・日	学校名	月・日	学校名
R6. 5. 17（月）	旭が丘小学校 日野第三小学校	R6. 6. 14（金）	日野第四小学校 豊田小学校
R6. 5. 30（木）	日野第一小学校	R6. 9. 24（火）	日野第七小学校
R6. 5. 31（金）	日野第八小学校	R7. 1. 17（木）	滝合小学校
R6. 6. 20（木）	七生緑小学校	R7. 1. 24（金）	日野第五小学校
R6. 6. 27（木）	潤徳小学校	R7. 2. 7（金）	南平小学校
R6. 7. 4（木）	日野第六小学校	R7. 2. 21（金）	平山小学校
R6. 7. 18（木）	仲田小学校	R7. 2. 28（金）	夢が丘小学校

*このほか学校からの依頼により、R7. 2. 20（木）日野第四小学校2年生を訪問した。

⑥ 学校へ貸出・搬送（学校搬送便）

市内小中学校からの要望に応じて、授業内容に沿った資料や読書指導に必要な図書を貸し出し、搬送している。

搬送回数（のべ）	貸出冊数
のべ237回	6,711冊

⑦ 「本の森」学級文庫配本

子ども読書推進のため、小学校全学年へ読み物を中心とした図書セットを配本している。

回 数	貸出冊数
のべ 51 回	18, 152 冊

⑧ 中学生の職場体験学習

行事名	備 考		
職場体験	中央図書館	7 校	27 人
	高幡図書館	4 校	8 人
	日野図書館	1 校	4 人
	多摩平図書館	3 校	7 人
	平山図書館	3 校	6 人

⑨ 夏休みジュニアスタッフ（小学校 5 年生・6 年生・中学生）

行事名	備 考			
夏休みジュニア スタッフ	中央図書館	3 人	高幡図書館	4 人
	日野図書館	3 人	多摩平図書館	6 人
	平山図書館	2 人	百草図書館	2 人

⑩ 来館（施設見学、ボランティア活動、おはなし会、等）

対 象	開催日	実施館	
小・中学校	随時	中央、高幡、日野、多摩平、平山、百草、	18 校
その他の団体	随時	中央、高幡、多摩平、百草	4 団体

⑪ 市立幼稚園・保育園等への配本

幼稚園・保育園に対し、年齢に見合った図書を選定・配本し、読書活動の推進を図っている。

のべ配本回数	配本冊数
のべ 44 回	2, 340 冊

⑫ ボランティア懇談会

市内で活動する子どもの本に関わる団体相互と図書館とが情報交換を行う。

R6.11.26（火）多摩平の森ふれあい館 集会室5 10団体参加

⑬ 青少年読書活動事業 「日野ヤングスタッフ事業」

青少年が自ら企画・立案し、イベントの開催、推薦図書リストの作成等を行った。

公募により、市内在住・在学の大学生・高校生が参加。

行 事 名	開催月日	備考
市内大学連携事業 「実践女子大学 常磐祭」展示	R6.11.7 (木) ～ 12.6 (金)	ビブリオバトルは開催せず、常磐祭には展示のみ参加した。(テーマ展示「青春～一瞬の輝き～」、14冊展示) テーマ展示とあわせて、ヤングスタッフの活動紹介ポスターと、ヤングスタッフが作成したブックリストを展示した。
会議	R6.4.21 (日) R6.5.19 (日) R6.6.16 (日) R6.8.18 (日) R6.9.15 (日) R6.10.20 (日) R6.11.17 (日) R6.12.15 (日) R7.1.19 (日) R7.2.16 (日) R7.3.16 (日)	ZOOMを使ったWeb会議と対面を併用して活動をおこなった。会議の実施回数は11回であった。

⑭ 中学生と作家の交流事業

中学生が本に親しみ、自ら読書の楽しさを発信する活動を支援。

開催日	会 場	講 師	参加者(名)
R6.11.4 (月、祝)	多摩平の森ふれあい館 集会室6	田丸雅智 氏	40名

(6) 障害者サービス

① 利用者、音訳点訳登録者、点字図書、拡大写本、対面朗読数

利用者数		音訳者	点訳者	点字図書			拡大写本		対面朗読		
個人	団体			作成枚数	貸出		作成枚数	貸出タイトル数	件数	のべ時間	のべ音訳者数
					タイトル数	巻数					
226	13	41	30	4,816	299	299	0	202	378	289	226

② 録音図書の作成・貸出数

作 成						貸 出					
テープ 図書		DAISY 図書		合計		テープ 図書		DAISY 図書		合計	
タイトル 数	巻数	タイトル 数	巻数	タイトル 数	巻数	タイトル 数	巻数	タイトル 数	巻数	タイトル 数	巻数
0	0	108	108	108	108	0	0	4,225	4,225	4,225	4,225

③ 相互貸借の貸出・借用数

貸 出						借 用					
テープ 図書		DAISY 図書		点字図書		テープ 図書		DAISY 図書		点字図書	
タイトル 数	巻数	タイトル 数	巻数	タイトル 数	巻数	タイトル 数	巻数	タイトル 数	巻数	タイトル 数	巻数
0	0	9,624	9,628	211	211	0	0	2,097	2,136	130	205

④ 宅配による貸出数

利用者数	回数	貸出図書冊数	視覚障害向け IT 講習	視覚障害者向け 点字指導
33 名	373 回 (ボランティア 22 回)	1,224 冊 (ボランティア 55 冊)	7 人 132 時間	0 人 0 時間

⑤ 講習会開催数

講 習 名	講 師	回数	開催場所	受講者
音訳者講習会（中級）	成毛由紀子氏	3 回	多摩平の森ふれあい館	38 名

⑥ 出張点字授業

点字や視覚障害者の理解を深めるため、市内小学校 4 年生を訪問している。

訪問日	学校名	クラス数
R6.7.12（金）	日野第七小学校	3
R6.11.5（火）	夢が丘小学校	2
R7.2.20（木）、25（火）	日野第五小学校	5
計	3	10

(7) 刊行資料

資料名（1 回当りの発行部数）	発行回（回）	発行部数
館報「ひろば」	12	15,800
新聞記事速報（1 回あたり 230 部）	243	55,890
資料の広場（1 回あたり 90 部）	9	810

(8) 視聴覚ライブラリー

① 視聴覚機材、16ミリフィルム保有数及び貸出数

資料・機材名	保有数	貸出数
16ミリ映写機	1	0
8ミリ映写機	1	0
スライド映写機	1	0
スクリーン	8	0
暗幕	19	26
16ミリフィルム	60	0

② 16ミリ映写機検定

項 目	開催日	検定台数	会場
16ミリ映写機検定	R7.2.17(月)	4台	中央図書館

(9) インターネットサービス

① ホームページアクセス件数 861,600件

② パスワード発行数 2,725件

③ メールアドレス登録者数 (累計) 25,592人

④ インターネット検索パソコン利用回数

中央	高幡	日野	多摩平	平山	市政	百草	合計
313	336	429	1,898	365	226	300	3,867

⑤ 持込PC用電源利用受付数

中央	高幡	日野	多摩平	平山	市政	百草	合計
818	344	168	491	275	—	41	2,137

(10) テーマ展示

本との出会いを生む取組として、テーマごとに蔵書の紹介をしている。

① 中央図書館

	テーマ
4月	花！華！はな ミニ展示①「嫌われものだって生きている」 児童室展示「はるがきました！」(4, 5月)
5月	「のを知りたい」 ミニ展示①「ヒューゴー賞受賞作品」
6月	「手のひら美術館・写真館」 ミニ展示①「紋章・記号」 ミニ展示②「食中毒・カビ」(6, 7月) 児童室展示「なつのおとずれ」(6～8月)
7月	7月1日は「日野市子ども条例の日」です！ ミニ展示①「スポーツの歴史」 ミニ展示②「雷」(7, 8月) 児童室展示①「高齢者向け紙芝居」(7, 8月) 児童室展示②「ひんやり本」(夏リスト掲載本)(7, 8月) 児童室展示③「読書感想文・自由研究に役立つ本」(7, 8月)
8月	「”戦争”と”世界の平和”を考える」 サブ展示：実践女子大学学生「平和学習」の展示(8/15～8/31) ミニ展示①「しか！」 ミニ展示②「防災」(8, 9月)
9月	悩んでいるあなたへ(自殺予防週間) ミニ展示①「星をみあげて」 ミニ展示②「月」 児童室展示「あきによみたいほん」(9～11月) 児童室展示②「たべもの」(9～11月)
10月	ごみゼロ推進課「クリーンセンター環境展」(古紙リサイクルについて) サブ展示「展覧会図録のいろいろ」 ミニ展示①「時代劇」 ミニ展示②「お米」(10, 11月)
11月	「児童虐待防止・子育て支援」 サブ展示「大坂上中1年生のおすすめ本(POPとともに)」 ミニ展示「紅葉」(11, 12月)
12月	「障害者週間」 ミニ展示①「世界を広げる」 ミニ展示②「お風呂、お正月」(12, 1月) 児童室展示①「さむいけど…たのしみいっぱい！ふゆのほん」 児童室展示②「乳幼児におすすめ！」
1月	「顔」 ミニ展示「皮を脱ぐ」
2月	「読書でひもとく環境問題」 ミニ展示①「人形」 ミニ展示②「日本酒」(2, 3月)

3月	「日野市ゆかりの〇〇」 サブ展示「ヤングケアラー」 ミニ展示①「写す・刷る」 ミニ展示②「一年生」 児童室展示①「春の本」 児童室展示②「どうぶつ」
----	---

② 中央図書館レファレンス室（2階）

	テーマ
4月	「街道をゆけば」
5月	「新選組！」
6月	「高幡不動尊」
7月	「どんど焼き」
8月	「戦争の記録」
9月	「日野の自然」
10月	「多摩動物公園」
11月	「多摩の信仰」
12月	「多摩地域の日記」
1月	「多摩地域の地名」
2月	「多摩の文化財」
3月	「多摩の映像支援」

③ 高幡図書館

	テーマ
4月	環境とSDG s
5月	「擬態」 隠れる生きものたち サブ展示：「追悼：唐十郎」
6月	「ことばあそびで頭をひねる」～回文・言葉遊びの本、集めました～
7月	「夏」
8月	「戦争とくらし」
9月	「スポーツの秋」
10月	「まなぶ・まねぶ・模倣？贋作？」～模写・模倣・贋作の世界～ サブ展示「まちゼミ」 児童室展示「本のシャツ紹介本展示」
11月	「多摩動物公園と七生村・京王線」 サブ展示①「読書会」 サブ展示②「追悼：中川李枝子」 ヤング展示「実践女子大選書ツアー」
12月	クリスマスと年末が舞台の小説 サブ展示「子ども条例」
1月	古今東西びっくり建築

2月	「本を商う」ということ サブ展示「ヤングケアラー」 ヤング展示「ヤングスタッフ選書ツアー」
3月	生きる

④ 日野図書館

	テーマ
4月	チャレンジ！
5月	旅日記 サブ展示「新選組」
6月	それぞれの選択
7月	涼をもとめて 児童室展示「親子で調べよう日野用水」
8月	語り継ぐ、戦争の記憶
9月	認知症月間『ともにともに』
10月	笑う
11月	日野の画家 児童室展示「大坂上中学校生徒によるPOP展示」
12月	子育て支援ーみんなで育てるー ヤング展示「実践女子大学・実践女子大学短期大学部図書館 学生選書ツアー」
1月	一富士二鷹三茄子 サブ展示「SDGsとは」
2月	江戸時代中期・後期
3月	命

⑤ 多摩平図書館

	テーマ
4月	フランス サブ展示「阿部結さん」(4-6月) 児童室展示「はぴはぴミニ講座で紹介した本」(4-5月)
5月	団地
6月	【SDGs】省エネルギー 児童室展示「読み聞かせ入門講座で紹介した本」(6-7月)

	テーマ
7月	【子ども条例】子どもが主役！ サブ展示「NO BOOK NO LIFE」(7/2-8/15) 児童室展示①「日野第六小学校訪問展示」(7/4-7/19) 児童室展示②「夏休み宿題おうえんコーナー」(7/19-9/4) 児童室展示③「夏リスト2024」(7/19～)
8月	【平和展示】未来へつなぐ平和への想い サブ展示「PlanTビジネスプランコンテスト」(8/15-9月) 児童室展示「ジュニアスタッフのおすすめ本」(8/16-9月) ヤング展示「実践女子大学、実践女子大学短期大学部図書館学生 選書ツアー2023「導く」(巡回展示)
9月	秋に聞きたい音楽 サブ展示「LLブックを知っていますか？」(9-11月) ヤング展示「二中・四中・大坂上中学校職場体験生徒のおすすめ本」 (9-11月)
10月	夜の世界 サブ展示「まちゼミ」(9-11月)
11月	聞き書き 児童室展示「秋のお楽しみ袋」 ヤング展示①「大坂上中1年生のおすすめ本(POPとともに)」 ヤング展示②「中学生と作家 田丸雅智氏著作」(11-12月)
12月	昭和レトロ サブ展示「クリスマス・お正月」
1月	【在宅支援】在宅支援について知っていますか？ サブ展示「みんなのおすすめ本(「本のシャツ」企画)」(1-2月) 児童室展示「日野第五小学校訪問展示」(1-3月)
2月	ラジオ放送開始100年
3月	【子育て支援】子育てのカタチいろいろ サブ展示「ヤングケアラー」

⑥ 平山図書館

	テーマ
4月	教科書から始めようー入門書のススメー サブ展示「ドッペルゲンガーーもう一人のワタシー」 児童室展示「阿部結さん展示」
5月	新札三偉人ものがたり サブ展示「英語じゃないんだ…ー英語圏以外の翻訳小説ー」 ミニ展示「平山図書館陰陽師まつり」 児童室展示「らんらんらん！えんそくだ！」

	テーマ
6月	「いただきます」のまえにー6月は食育月間ー サブ展示「ややジミな文学賞① 大江健三郎賞」 ミニ展示「実践女子大学／実践女子大学短期大学部図書館 学生選書ツアー2023「導く」(巡回展示) 児童室展示①「歯のはなし」 ②「あめあめあめ」
7月	子どもと話そうー「日野市子ども条例」と子どもの権利ー サブ展示『笑点』の人たち ミニ展示「ちゅるんとのごし」 児童室展示 ①「うみにいく?やまにいく?」 ②「オリンピックとフランス」 ③「夏リスト2024」 ④「学童で紹介した本」 ⑤「三沢中学校職場体験の中学生のおすすめ本」
8月	子どもの本で考える平和 サブ展示「ツインズの物語」 ミニ展示「夏の扉をあけてータイトルに「8月」のある本ー 児童室展示 ①「ジュニアスタッフおすすめの本」 ②「ちょっぴりこわいはなし」 ③「平山中学校職場体験の中学生のおすすめ本」
9月	砂漠の世界 サブ展示「小説内作家ーものがたりをつむぐひとー」
10月	アメリカ大統領とは? サブ展示「バス×小説」 ミニ展示「センキョ×ショウセツ」 児童室展示 ①「まじよの本／かぼちゃとハロウィン」 ②「追悼 中川李枝子さん せなけいこさん」
11月	あなたの知らない世界ー11月は児童虐待防止月間ー サブ展示「ややジミな文学賞② Bunkamuraドゥマゴ文学賞」 ミニ展示 ①「もう寒くね?やっぱ鍋じゃね?」 ②「防犯!あらためて意識してみる」 ③「ユネスコ「伝統的酒造り」を無形文化遺産に登録」 児童室展示 ①「おいしいものがいっぱい!」 ②「追悼 谷川俊太郎さん」 ③「クリスマスの本」 ④「日野第二中学校職場体験の中学生のおすすめ本」

	テーマ
12月	involved in child rearing –子育てに関わる– サブ展示「紅白歌合戦 2024」 ミニ展示 ①「平山図書館的r.i.p. 2024」 ②「わかつちやいるけど、やりたくない!! –相続について話し合う–」 ③「なんとなく、クリスマス&気分はもうお正月 style」 児童室展示「お正月」
1月	ダイエット! –わたしはコレでやせました– サブ展示「コンゲーム –私はダマされない! –」 ミニ展示「大河ドラマ「べらぼう」で注目! 狂歌の世界と太田南畝を楽しむ」 児童室展示 ①「へびの本」 ②「いちご あまいかな」
2月	漆原宏写真展 図書館の原点を撮して サブ展示「温泉・銭湯×小説」 ミニ展示「ヤングケアラー関連資料展示」 児童室展示①「ねこがいっぱい」 ②「滝合小学校学校訪問で紹介した本」
3月	子どもたちの未来 –児童書で学ぶ環境とSDGs– サブ展示「お引越し」 ミニ展示①「京王電鉄 新宿–八王子間全線開通100年」 ②「実践女子大学／実践女子大学短期大学部図書館 学生選書ツアー2024（巡回展示）」 児童室展示 ①「どんなところがっこうようちえんほいくえん」②「平山小学校作品展に関する本」 ③「平山小学校学校訪問で紹介した本」

⑦ 百草図書館

	テーマ
4月	宮沢賢治「春と修羅」誕生100周年
5月	自分の心と向き合い、自分の心の中を見つめる
6月	天気の本
7月	【子ども条例】子どものあたりまえを守る
8月	【平和展示】戦火のなか逃げまどう人々～戦争と平和～
9月	認知症について知ろう! サブ展示「三沢中ちょこっとボランティアPOP」
10月	日本の、世界の建築物

11月	児童虐待0をめざして 児童室展示「追悼：中川李枝子さん、せなけいこさん、谷川俊太郎さん」
12月	ポカポカする本 児童室展示「追悼：いわむらかずおさん」
1月	仏像が見たい
2月	心にゆとりを。人にやさしく、寛容に生きる素晴らしさを サブ展示「ヤングケアラー」
3月	【自殺対策】疲れた心に サブ展示「追悼：曾野綾子さん」

(11) 日野宿発見隊活動

活動内容	開催月日	会場	参加者数等
日野宿発見隊第111弾 「スタンプラリーin 日野宿2024」	R6.5.11 (土)	日野宿内	479名
日野宿発見隊第112弾 第22回子ども発見隊「夏休み！親子で調べよう日野用水」	R6.7.20 (土)	新東光寺地区センター前 用水	28名
日野宿発見隊第113弾「秋の灯（ひ）」	R6.9.10 (火)～16 (月)	日野図書館前	21基
日野宿発見隊第114弾「八坂の祭り 写真展」	R6.9.2(月) ～30日(月)	八坂神社玉垣ほか	75点
日野宿発見隊第115弾「出水操作品展」	R6.11.9(土) ～10日(日)	日野桑園第一蚕室	787名
日野宿発見隊通信第22号発行	R7.3.7(金)	日野第一小、東光寺小、 仲田小学区内自治会配布	400部

※「日野宿発見隊第111弾「スタンプラリーin 日野宿2024」の「参加者数等」は、
スタンプ帳頒布数

※ 参加者数等の「等」には、発見隊員・事務局の人数も含む

(12) はじまりの読書会2024

	開催日程	とりあげた作品	会場	講師
第1回	R6.10.24(木)	『少年と犬』 馳星周／著	高幡図書館 読書会室	中井あつし氏
第2回	R6.11.28(木)	『世界から猫が消えたなら』 川村元気／著		
第3回	R6.12.26(木)	『ドリトル先生アフリカへ行く』 ヒュー・ロフティング／著		
第4回	R7.1.23(木)	『ことり』 小川洋子／著		
第5回	R7.2.27(木)	『犬がいた季節』 伊吹有喜／著		

※ 参加者数 5名

(1 3) その他

① リサイクル図書配布

配布先		施設数等	配付数 (冊)	配布先	施設数等	配付数 (冊)
児童施設		3	122	団体合計	27団体	1,129
小中学校		11	549	個人		25,689
市他部署		9	306	イベント	1回	1,483
その他団体		4	152	合計		28,301

② 実習生 (大学生以上) 受入

期間	団体・学校名	学年等	目的	人数
R6.8.6 (火) ～19 (月)	和光大学	4年生	図書館実習	1名
R6.8.6 (火) ～19 (月)	実践女子大学	4年生	図書館実習	2名
R6.8.8 (木) ～9 (金)	市内教員	教諭	中堅教諭等資質向上研修	3名
R6.8.15 (木) ～16 (金)	市内教員	教諭	中堅教諭等資質向上研修	2名
R6.8.22 (木) ～23 (金)	市内教員	教諭	中堅教諭等資質向上研修	3名
R7.2.4 (火)	市内教員	教諭	教員初任者研修	1名
R7.2.7 (金)	市内教員	教諭	教員初任者研修	1名

(参考資料)

日野市立図書館の運営状況の評価実施要綱

平成21年3月31日制定

(目的)

第1条 この要綱は、図書館法（昭和25年法律第118号）第7条の3に規定する、図書館の運営の状況に関する評価等に関し、必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の対象)

第2条 日野市立図書館（以下「図書館」という。）は、毎年1回、図書館の運営状況について評価を行う。

(評価の方法)

第3条 図書館は、図書館協議会の意見を聞きながら、評価を行うものとする。

(教育委員会への報告書の提出)

第4条 図書館は、評価に関する報告書を毎年度作成し、教育委員会に提出する。

(評価結果の公表)

第5条 図書館は、評価の結果を市民に公表する。

(評価結果の活用)

第6条 図書館は、評価の結果に基づき、その運営の改善に努めるものとする。

(庶務)

第7条 評価に関する庶務は、図書館庶務整理係において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、この要綱の施行に関し必要な事項は、図書館長が別に定める。

付 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

(参考資料)

図書館協議会委員名簿

≪第31期図書館協議会委員≫

委員長	田代 守	社会教育の関係者
副委員長	山口 洋	学識経験者
委員	栗澤 稚富美	社会教育の関係者
委員	元木 千恵	家庭教育の関係者
委員	遠藤 直幸	公募による市民
委員	吉岡 里美	公募による市民
委員	畠山 秀保	学識経験者
委員	千葉 智弘	学校教育の関係者
委員	馬場 章夫	学校教育の関係者

任期 自 令和6年4月15日
至 令和8年4月14日

**令和7年度
日野市立図書館の運営の
状況に関する評価書**

(令和6年度事業)

令和7年9月
日野市立図書館

〒191-0053 東京都日野市豊田 2-49-2
電話 042-586-0584